

2020年度

学 生 募 集 要 項

〔 一般入試（前期日程・後期日程） 〕

教 育 学 部

法 学 部

経 済 学 部

医 学 部

創造工学部

農 学 部

2019年11月

香 川 大 学

2020年度 香川大学入学者選抜日程の概要

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験

1月18日（土）・19日（日）

前 期 日 程

後 期 日 程

出 願 期 間 （前期日程，後期日程）

1月27日（月）～2月5日（水）

学 力 検 査 日

2月25日（火）

※医学部(医学科)のみ2月25日(火)・26日(水)
※医学部(臨床心理学科)の試験日程は、受験者数によつては翌日にわたる場合があります。

学 力 検 査 日

3月12日（木）

※医学部(医学科)の試験日程は、受験者数によつては翌日にわたる場合があります。

合 格 者 発 表 日

3月6日（金）

合 格 者 発 表 日

3月22日（日）

入 学 手 続 期 限

3月15日（日）

入 学 手 続 期 限

3月27日（金）

入 学 式

4月3日（金）
（予定）

令和元年台風第 19 号により被災した 2020 年度香川大学学部及び大学院入学志願者の 検定料の免除について

この度の台風により被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

香川大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、以下の 2020 年度学部及び大学院入学者選抜試験に限り、次のとおり検定料免除の特例措置を実施することになりましたのでお知らせします。

1. 特例措置の対象となる入学者選抜試験

- (1) 2020 年度学部一般入試（前期日程・後期日程）、推薦入試
- (2) 2020 年度私費外国人留学生入試
- (3) 2020 年度社会人入試（夜間主コース）
- (4) 2020 年度編入学試験又は大学院入試（いずれも 2019 年 10 月 12 日以降に出願するものに限る）
- (5) 2020 年度編入学試験（夜間主コース）

2. 措置内容

- (1) 1 の(1)及び(2) 検定料（17,000 円）の免除
- (2) 1 の(3) 検定料（10,000 円）の免除
- (3) 1 の(4) 検定料（30,000 円）の免除
- (4) 1 の(5) 検定料（18,000 円）の免除

3. 対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、令和元年台風第 19 号により被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 主たる家計支持者が、令和元年台風第 19 号にかかる災害救助法適用地域において被災し、自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した方
- (2) 主たる家計支持者が、令和元年台風第 19 号により死亡又は行方不明の場合

4. 申請方法

- (1) 1 の(1)に該当する方

検定料の免除を希望する方は、出願前に必ず下記問合せ先にご連絡ください。

連絡後、所定の申請書類を香川大学ホームページからダウンロードし、出願書類とともに提出してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「検定料」を振り込まないでください。

- (2) 1 の(2)～(5)に該当する方

検定料の免除を希望する方は、所定の申請書類を香川大学ホームページからダウンロードし、出願書類とともに提出してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「検定料」を振り込まないでください。

5. 申請書類

- (1) 検定料免除申請書（本学所定様式）
- (2) 地方公共団体が発行する「り災証明書」（3 の(1)に該当する方）（コピー可）
- (3) 死亡又は行方不明を証明する書類（3 の(2)に該当する方）（コピー可）
- (4) やむを得ない事情で、上記(2)(3)の証明書等が得られない場合は、被災状況を説明した申立書（様式自由）

6. 許可又は不許可の通知について

- (1) 1 の(1)に該当する方

イ 許可者には、出願手続き完了をもって、許可の通知に代えることとします。

ロ 不許可者には、別途連絡しますので、直ちに検定料を指定の口座に振り込んでください。納入が確認された後、出願手続き完了とします。

- (2) 1 の(2)～(5)に該当する方

イ 許可者には、許可の通知及び受験票を送付します。

ロ 不許可者には、別途連絡しますので、直ちに検定料を指定の口座に振り込んでください。納入が確認された後、受験票を送付します。

本件に関する問合せ先

香川大学教育・学生支援室入試グループ

TEL (087)832-1182 FAX (087)832-1188

目次

検定料免除についてのお知らせ

教育学部における募集人員の変更について	1
医学部医学科における募集人員の変更について	2
I 入学者の受入方針	3
II 募 集 人 員	22
III 出 願 に つ い て	
1. 出願資格	24
2. 出願手続	25
3. 選抜方法	34
4. 個別学力検査等の日時及び場所	55
5. 合格者発表	58
6. 入学手続	58
7. 追加合格について	59
8. 追加合格の情報等について	60
9. 欠員補充第2次募集について	60
10. 入試情報の開示について	61
11. 障害を有する入学志願者等との事前相談について	62
12. 出願資格審査について	63
13. 個人情報の取扱いについて	63
14. その他	63
15. 一般入試に関する照会	64
IV 検査場案内図	
1. 香川大学検査場案内図	65
2. 香川大学建物配置図	66
3. 香川大学関西地区検査場案内図	69
4. 香川大学関西地区検査場建物配置図	70

教育学部における募集人員の変更について

2020年度入学者選抜から、教育学部の募集人員を以下のとおり変更します。

【変更前】

課程・コース		入学 定員 (人)	募 集 人 員			
			一 般 入 試		特 別 選 抜	
			前期日程	後期日程	推薦入試（Ⅰ） 大学入試センター 試験を免除する	AO入試
学校教育教員養成課程	幼児教育コース	160	8		2	
	小学校教育コース		60		18	
	中学校教育コース		A系	13	7	13
			B系	7		
			C系	5		
計		160	93		25	



【変更後】

課程・コース		入学 定員 (人)	募 集 人 員										
			一 般 入 試		特 別 選 抜								
			前期日程		後期日程		推薦入試（Ⅰ） 大学入試センター 試験を免除する		AO入試				
学校 教育 教員 養成 課程	幼児教育コース	160	8		18		(ア) 幼児教育		2				
	小学校教育コース		55				(イ) 小学校		27				
			(ウ) 特別支援				5						
	中学校教育コース		A系	14	7				(エ) 技術			2	
			B系	10					(オ) 家庭科			2	
									(カ) 音楽			2	
			C系	4					(キ) 美術			2	
				(ク) 保健体育		2							
計		160	91		25		34		10				

※中学校教育コースAO入試内の（エ）～（ク）の区分における人数は、目安です。

医学部医学科における入学定員及び募集人員の変更について

2020 年度入学者選抜から、医学部医学科の入学定員及び一般入試（前期日程・地域医療推進枠、後期日程）の募集人員を以下のとおり変更します（「新成長戦略」（平成 22 年 6 月 18 日閣議決定）等に基づく暫定的な医学部入学定員の増加措置が 2019 年度で終了したため）。

【変更前】

学部	学科	入学定員 (人)	募 集 人 員 (人)		
			一 般 入 試		特 別 選 抜
			前期日程	後期日程	推薦入試Ⅱ (大学入試センター 試験を課する 推薦入試)
医学部	医学科	109	59 (地域医療推進枠 9 人を含む)	25	25 (県民医療推進枠 5 人を含む)

【変更後】

学部	学科	入学定員 (人)	募 集 人 員 (人)		
			一 般 入 試		特 別 選 抜
			前期日程	後期日程	推薦入試Ⅱ (大学入試センター 試験を課する 推薦入試)
医学部	医学科	※95	※50 (地域医療推進枠 は未定)	※20	25 (県民医療推進枠 5 人を含む)

※2020 年度医学部医学科の入学定員が 109 人、医学科の一般入試（前期日程）の募集人員が 59 人（「地域医療推進枠」9 人を含む。）、一般入試（後期日程）の募集人員が 25 人となるよう調整中です。

人数については予定であり、変更があり得ます。確定次第、本学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/>）ですみやかに公表します。

I 入学者の受入方針

香川大学は、「世界水準の教育研究活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

各学部，学科・課程の具体的な入学者の受入方針は次のとおりです。

教 育 学 部

1. 教育理念

香川大学教育学部は，学校教員をはじめ教育者を養成し，広く教育界に貢献することを理念とします。今日の学校教育の現場には，急激な社会の変化の中で，教科に関する新しい学力をどのようにつけるか，子どもたち一人一人の自己実現をどのように支援できるかなど，人間形成に関するきわめて重要な課題があります。また急速な少子・高齢化，情報化社会の進展，切実さを増す環境問題，多文化社会における共生の在り方などの問題は，生涯にわたる教育の必要性和新たな教育的課題を生み出しています。このような教育に関する課題に柔軟かつ積極的に対処できるように，人間の発達・形成に関する教育研究を基礎に，教育に関する総合的な教育研究を行い，教育実践力を有する学校教育教員及び広く教育界で活躍できる人材の養成を目指します。

2. 教育目標

教育学部では，その教育理念に基づき，豊かな人間性と教職への強い使命感をもつとともに，社会の変化やニーズを適切に踏まえ，学校教育が抱えるさまざまな現代的教育課題に協働して対処することができる，専門的知識と実践的指導力を備えた教育者を養成します。

3. 教育内容

教育学部では，学部の教育目標に沿った4年間一貫教育を行っています。

1年次は各コースに所属し，全学共通科目と学部共通科目を中心に学び，教職に関する基礎とともに，自分の興味や関心を探求し視野を広げます。2年次以降は，より実践的で専門的な授業科目を履修していきます。（小学校教育コース及び中学校教育コースでは，2年進級時に各教科領域等を決定します。）特に3年次以降に配当された教育実習を中心として，教科内容の学習や教科外の諸活動を行う中で，それぞれの課題を発見し，解決する能力の育成を目指しています。4年次の卒業研究では，それぞれの具体的な課題に取り組み，専門分野の総合的学力を高めます。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊学校教育において，問題解決するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的

思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊学校教育に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊様々な課題にチャレンジする積極性を持ち，経験の積み重ねを通して将来へのビジョンの構築に努める能力

⑤倫理観・社会的責任

＊教育者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

ボランティア活動や学校内外での諸活動で教育に関する何らかの実践を経験するなど，子どもの理解と教育に携わる意欲を持ってください。

教育者として他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要とされるので，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 選抜方法の趣旨

一般入試では，高等学校での教科面における学習の達成度をみるため，大学入試センター試験 5 教科 7 科目又は 6 教科 7 科目（理科の選択科目によっては 5 教科 8 科目又は 6 教科 8 科目）を課しています。

＊前期日程

幼児教育コース及び小学校教育コースでは，個別学力検査（国語，英語，数学，理科）又は実技検査（音楽，美術，保健体育）から 1 科目選択し，得意な教科に関する達成度（知識・技能，及び思考力・判断力・表現力）を評価します。

中学校教育コースについては，受験教科によって A 系（国語又は英語），B 系（数学又は理科），C 系（実技：音楽，美術又は保健体育）の三つの系を設けて教科の専門性（知識・技能，及び思考力・判断力・表現力）をより重視して評価します。

＊後期日程（幼児教育コースを除く）

いずれのコースとも小論文が課せられ，大学生に求められる資質としての論述の能力（理解力，思考力・判断力・表現力など）を総合的に評価します。

法 学 部

1. 教育理念

香川大学法学部は、四国で唯一の国立大学法学部であり、高等裁判所をはじめとする重要な官公庁の位置する地の利を活かし、全国的にも高い評価を受ける教育研究を行うことを目指しています。

香川大学法学部は、開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民を育てます。さらに、法学的素養を備えた専門職業人を養成します。

2. 教育目標

香川大学法学部では、その教育理念に基づき、開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民、法学的素養を備えた専門職業人を育成します。すなわち、世界の多様性とそこから生ずる諸問題を把握し、その解決に向けての法律学・政治学の基本的理念の知識を適切に用いて自他の尊厳を守ることができる人間を育成します。

3. 教育内容

このような教育目的を達成するために、基礎から比較的高度な内容への段階的履修、ゼミナールを中心としたきめの細やかな少人数及び双方向の教育、希望する将来の職業に応じて重点の異なる法律職コース、公共政策コース及び企業法務コースの3コース制による教育を実施しています。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識及び技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊物事をさまざまな角度からとらえ、筋道を立てて考える能力

＊紛争解決及び政策立案のために必要な論理的な思考力と判断力

＊文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現できる能力

＊相手の意見からも学び、議論をリードし発展させることのできる能力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とのかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊正義と衡平を追求しそれらを社会に実現しようとする意欲と態度

＊現代社会の動きに常に関心を持ち、書物や新聞を通して、広く社会で生じていることに対する問題意識を深め、自分の意見を形成できる能力

⑤倫理観・社会的責任

＊社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解し、自律的に行動できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学部に入學を希望する人は、入學後の教育に対応できる素質を養うため、高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。高等学校で学ぶことは、大学教育の前提となるものです。まずは国際的な視野とコミュニケーション能力を重視することから、英語及び国語の基礎的な能力を身につけておく必要があります。また法学・政治学は社会科学ですから、地理・歴史あるいは公民など社会科の科目もしっかり学んでください。さらに法学・政治学に必要な論理的思考力は数学・理科の学習によって培われます。万遍なく学んでください。

5. 選抜方法の趣旨

* 前期日程

大学入試センター試験では、基礎的な学力をみるために5教科7科目又は6教科7科目（理科の選択科目によっては5教科8科目又は6教科8科目）を課しています。個別学力検査では、論理的思考力を測ることのできる数学又は国際的コミュニケーション能力を測ることのできる英語を課します。

* 後期日程

大学入試センター試験では、基礎的な学力をみるために5教科7科目又は6教科7科目（理科の選択科目によっては5教科8科目又は6教科8科目）を課しています。個別学力検査では、高い論理的思考力と文章によるコミュニケーション能力を持った学生を選抜するため小論文試験を課します。

経 済 学 部

1. 教育理念

香川大学経済学部は、経済や経営に関する世界水準の研究教育活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念とします。学士課程では、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と経済や経営に関する専門知識や多様な価値や文化に対する深い理解に支えられた課題探究能力を備え、国際的な視野で地域社会において活躍できる進取の気象と共生の精神に富んだ教養豊かな経済人を育成することを目指します。

2. 教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし、多様な価値や文化に対する深い理解を背景として、国内外で活躍できる力を身につけます。

【専門分野に対する優れた能力】

経済の仕組み、企業の活動、世界の社会・歴史などに関するさまざまな現象から、自ら課題を発見し、それを探求・解決するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには実務的な処理能力を兼ね備えている必要があります。理論と応用が有機的に結合した実行力を身につけます。

【経済人としての幅広い視野】

現代社会が求める経済人は、柔軟な視野にたち、コミュニケーション能力を備え、社会と

積極的にしかかわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち、多様な価値観を理解できるようにします。

【情報を分析し発信する能力】

今日の社会は複雑化した経済情報、国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な情報を迅速かつ的確に収集し、分析する能力を身につけるだけでなく、自ら情報を発信する力を身につけます。

3. 教育内容

経済学部学生が学ぶ授業科目は、「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は、主に1年次の全学学生を対象に開設される教養教育科目です。学部での専門教育を受けるために必要な基礎的学力や学習の方法、他の分野の幅広い知識や考え方を身につけます。

「学部開設科目」は、学部学生を対象に開設する授業科目です。学部開設科目は、課題探求能力や実務処理能力を身につけるための科目であり、各専門分野を体系的に学べるように授業科目を用意しています。学部教育の根幹科目として、3年次履修の「演習」及び4年次履修の「卒業論文」を必修科目としています。

また2年次後期からは、各学生は自分の興味・関心・適性、将来の進路等を考慮して、以下の5コースのうちからどれか一つを選択し、より専門性を深めるための科目を中心に学んでいきます。

【経済・政策分析コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し、複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で、人びとの幸福の達成に向けて、経済のメカニズムを分析し、日本経済及び世界経済の課題やそれに対する政策の検討を行います。さらには、提言を行うための課題探求・解決力、コミュニケーション力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

公務員、自治体・企業の調査分析部門

【会計・ファイナンスコース】

(学修する内容と身に付ける力)

財務会計、管理会計、会計監査等の会計学分野について、主に企業行動を対象に段階的かつ網羅的に学ぶことで会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力を身につけます。また、金融論、経営財務、保健論及び財政学の分野について、政府の政策や企業行動を対象として学修することで、ファイナンス領域に関する深い理解力と洞察力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

金融機関、企業における経理部門・財務部門、会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁(国税庁など)

【経営・イノベーションコース】

(学修する内容と身に付ける力)

戦略と組織、マーケティング、イノベーション、企業の社会的責任など、経営学に関わる

幅広い内容を学修します。また、ビジネスの視点から問題解決にあたり、新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力、課題探求・解決能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

民間企業（製造、卸・小売業）、官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務、起業

【観光・地域振興コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済学・経営学をベースに、観光学、地域活性化論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに、観光に必要な調査法やフィールドワークにより、地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

公務員（観光振興、地域振興）、公益法人等（J A、生協、商工会議所）、観光業、地場産業等の企業

【グローバル社会経済コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため、経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修します。その上で、世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

国内外の企業（国際部門など）、公益法人（JICA など）、NGO、新聞社などのメディア

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

①知識・技能

＊経済の仕組み、企業の活動、世界の社会・歴史などに関する専門性の高い学問を学び、研究活動を実践するための、高等学校等における幅広い学習に基づいた知識・技能・理解能力

②思考力・判断力・表現力

＊経済・社会におけるさまざまな現象において、解決を必要としている問題を発見・探求し、自分の考えを論理的にまとめて、他者にわかりやすく伝える思考力・判断力・表現力
＊情報伝達の高度化・迅速化が進む社会において、必要な情報を収集・分析し、自ら情報を発信することができる能力

③主体性・多様性・協働性

＊柔軟な視野にたつて社会と積極的にかかわり、コミュニケーション能力を備え、多様な価値観を理解できる主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊経済・社会に関するさまざまな現象に興味を持ち、従来の考え方にとらわれず積極的に新しい物事に取り組んでいこうとする関心・意欲・態度

⑤倫理観・社会的責任

＊グローバル化する社会において、地域に根ざしながら世界と連携し共生するために、自

己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観を理解し体現する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において学ぶ、英語、数学、国語を中心とした基礎学力を身につけていることが必要です。英語の基礎学力は、大学において、国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は、数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は、講義やゼミナールで文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また経済・社会に対する関心を高め、論理的思考力を養うために普段から新聞を読んだり、読書習慣を身につけたりすることも重要です。さらに主体性・多様性・協働性を養うために、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動などに励むことも推奨します。加えて、国際的なコミュニケーション能力を養ったり、教養を育んだり、実務的な処理能力を高めたりするために、英語検定、簿記検定、漢字検定などの検定や資格の取得に励むことも推奨します。

5. 選抜方法の趣旨

* 前期日程

知識・技能・理解能力を重視することから、大学入試センター試験 5 教科（あるいは 6 教科）の得点を評価します。特に入学後の学習・研究に必要な基礎的学力を評価するため、国語・数学・外国語のうち最も高い点数の教科を傾斜配点します。さらに記述式の英語の試験を行い、思考力・判断力・表現力や国際的なコミュニケーション能力を評価します。

* 後期日程

知識・技能・理解能力を重視することから、大学入試センター試験 5 教科（あるいは 6 教科）の得点を評価します。さらに小論文試験を行い、思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。

医学部（医学科）

1. 教育理念

香川大学医学部医学科は、①幅広い教養と高い倫理観を備えた人間性豊かな医師・医学研究者、②自ら課題を探究し、それを解決できる高度な専門知識と技術、科学的思考力、判断力を備える医師・医学研究者、③地域に根差した医療人として地域医療に貢献し、地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことができる医師・医学研究者、④国際交流や国際貢献のための幅広いコミュニケーション能力と国際的視野を持った医師・医学研究者を育成することを目指します。

2. 教育目標

教育理念に掲げる医師・医学研究者の育成のために、次の能力及び態度を養成します。

- ① 医師・医学研究者として適切なコミュニケーションの実践及び世界標準の医学・医療に

関する情報収集に必要な言語運用能力

- ② 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養と医学・医療に関する基礎的知識と技能
- ③ 自ら問題点を見出し、解決する能力及び生涯を通じて自己主導型学習を実践する態度と習慣
- ④ 社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性、医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感
- ⑤ 医療・保健・福祉に関する地域理解及び地域医療への関心

3. 教育内容

教育目標を達成するために、全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

全学共通科目において21世紀型市民としての幅広い教養と社会性・倫理観、地域理解及び国際的言語運用能力を育成します。学部開設科目において、医学・医療の基盤となる自然科学領域と医学領域の知識と技能を養成するとともに、医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感及び地域医療への関心を涵養します。

階層的カリキュラムを実質化するため、年次ごとの進級要件を定め、年度末に厳格な進級判定を行います。4年次末においては、全国共通の共用試験の合格も進級要件に含まれます。臨床医学の修得に関する評価は6年次に卒業試験として行い、卒業判定に用います。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊医学の専門知識と技能を修得するための基盤となる、高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能

②思考力・判断力・表現力

＊情報の収集と評価、それに基づく自らの意見形成のための論理的思考力と判断力、及び形成した意見を他者へわかりやすく伝え、実行に移すための表現力

③主体性・多様性・協働性

＊医学に関する問題を自ら抽出し、多面的な視点から考察し、他者と協力して問題解決に当たるために必要な主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊進歩を続ける医学、医療の専門知識と技能に対する関心、生涯にわたりそれを学び続ける意欲、そのために必要な自己主導型学習態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる医療者として、また、医学と医療の継承と発展を担う医学者として求められる高い倫理観

＊医師・医学研究者としてのみならず社会の一員としても法令や社会的規範を遵守して行動できる社会性

◇大学入学までに修得が期待される内容

理科、数学、英語、国語を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが

期待されます。理科系科目では、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために必要となる、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることが期待されます。英語では、英文教科書や学術論文の読解や論述、国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための基礎的学力を身につけていることが期待されます。国語では、事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し、表現したり、他者とのコミュニケーションを確立するために必要な基礎的学力を身につけていることが期待されます。

5. 選抜方法の趣旨

* 前期日程

大学入試センター試験により、理科、数学、英語、国語、地理歴史・公民の5教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。国語の基礎学力は、考えを論理的に展開したり文章にまとめたり、適切に表現するために必要となります。理科系科目では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを個別学力検査等で評価します。これらは、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力です。個別学力検査等の数学では、論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。個別学力検査等の英語では、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

* 後期日程

大学入試センター試験により、理科、数学、英語、国語、地理歴史・公民の5教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。特に、理科、数学、英語の基礎学力を重視します。個別学力検査等の小論文では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していること、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

医学部（看護学科）

1. 教育理念

香川大学医学部看護学科は、①生命の尊重を基本として、人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった看護専門職者、②保健・医療・福祉の進展に柔軟に対応できる科学的判断力と専門技術を備えた看護専門職者、③幅広い視野をもち、地域保健医療や国際貢献の発展に寄与する看護専門職者を育成することを目指します。

2. 教育目標

- ① 看護の対象である人間としての権利と自由を尊重し、思考力、判断力、行動力を高め

ることができる能力を養う。

② 看護の問題を総合的に判断し、解決できる基本的な知識及び看護実践能力を養う。

③ 生涯を通じて自己啓発し、看護を批判的に分析し、建設的・創造的に発展させることができる基礎的能力を養う。

④ 看護活動を通して教育、研究、管理を担い、及び国際貢献ができる能力を養う。

3. 教育内容

教育目標を達成するために、全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

人間理解に必要となる幅広い視野と知識の獲得のため、全学共通科目を学びます。学部開設科目では、看護学における専門知識と技能を修得し、総合的な実践力、専門職として生涯にわたり研鑽に努める姿勢、地域医療に貢献する姿勢を培います。

そのために年次ごとの進級要件を定め、年度末に厳格な進級判定を行います。

さらに養護教諭課程を編成・実施し、所定の単位を修得することにより、養護教諭免許を申請できます。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊看護の対象を包括的に捉え、問題解決するための論理的思考力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊人々の健康を支援するために看護に高い志と強い関心を持ち、継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊看護専門職として国内外を問わず社会に発信し、生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる看護専門職者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学入学後の講義を理解するために必要な基礎学力の修得と、自ら学ぶ姿勢を持つことが望まれます。看護専門職には、他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることのできるコミュニケーション能力が必要となります。高等学校等における学習や課外活動を通して、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 選抜方法の趣旨

* 前期日程

知識の総合力を重視することから、大学入試センター試験 5 教科の得点を評価します。特に、看護学を学ぶために必要な論理的思考力、基礎的学力を評価します。さらに、面接で思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

医学部（臨床心理学科）

1. 教育理念

香川大学医学部臨床心理学科は、①人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった人間性豊かな心理援助者、②自ら課題を探究し、それを解決できる基本的な専門知識と技能、科学的思考力と共感的理解力を備えた心理援助者、③多職種連携・協力ができる資質を持ち、心理援助の実践を通して地域住民の福祉の充実発展に寄与するとともに、心理援助の発展に貢献する心理援助者を育成することを目指します。

2. 教育目標

教育理念に掲げる心理援助者の育成のために、次の能力及び態度を養成します。

- ① 人間性を尊重した対人支援の態度、共感的コミュニケーション能力及び多職種と連携・協働しようとする態度
- ② 心理臨床の現場において心理援助者が必要とする心理学・臨床心理学の基礎的知識・技能、それに加えて身体と精神が相互に関連していることの理解及び心理援助者にとって重要な疾患・障害についての知識
- ③ 心理臨床の学習・実践において、自ら問題点を見出し解決しようとする問題解決・課題探究能力
- ④ 心理援助者としての倫理観、使命感、責任感、省察的態度及び生涯にわたり研鑽に努める姿勢
- ⑤ 地域社会における医療・保健、教育、福祉等の現状と課題への関心及びその中での心理援助者の役割についての理解
- ⑥ 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養を踏まえた、社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性

3. 教育内容

教育目標を達成するために、全学共通科目と学部開設科目（専門基礎科目、専門科目）から構成される教育課程を編成・実施します。進級に関する要件はありませんが、「臨床心理学基礎研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅰ（心理支援実習）」「臨床心理学研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅱ（チーム医療実習）」及び「卒業研究」を受講するには、医学部が定める要件を満たすことが必要です。

講義科目では、心理学・臨床心理学を体系的に学ぶとともに医学の基礎を並行して学習することで、身体と精神が相互に関連していることを理解し、心理援助者にとって重要な疾患や障害についての知識を修得します。「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学統計法」「心理学研究法」などの実験・演習科目では、心の問題に対する実証的な研究法を学びます。さらに、少

人数の体験学習による演習科目や学内・学外機関・施設における実習科目によって、人間性を尊重した対人支援の態度や共感的コミュニケーション能力、クライアントや患者を中心として多職種間で連携・協働できる能力を身につけます。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

本学科は、「医学の素養を有した心理援助職」の養成を目指して医学部に設置されました。医師・看護師等の医療職の受験資格の取得を目的とした学科ではありませんが、心理学と医学を融合させ、さらに、保健医療分野を中心としながら、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各分野での実習・演習科目を含めたカリキュラムを展開し、保健医療に留まらず幅広い分野で、心理学的理解と支援に役立つ教育を行います。

卒業後に取得可能な資格は、認定心理士、児童指導員（任用資格）、心理判定員（任用資格）です。職種としては、少年鑑別所法務技官（心理技官）、家庭裁判所調査官、児童相談所児童心理司、児童養護施設の児童指導員などが想定されます。加えて、本学科卒業後に心理系の大学院修士課程に進学し、課程を修了すれば公認心理士（国家資格）、臨床心理士（日本臨床心理士資格認定協会）の受験資格が得られます。本学科のカリキュラムには公認心理師の受験資格を取得するために必要な科目等を含みます。

これらを踏まえて、大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊人間の心理を深く理解し支援するための論理的思考力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

＊他者の気持ちを敏感に感じ取る感受性や共感的コミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊心理的援助に高い志と強い関心を持ち、継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊人間尊重の態度や深く温かい眼差しを持ち、他者との関わりを通して、自己理解を深め、自らの潜在的な資質を成長させようとする意欲

＊大学卒業後もさらに高度な心理的援助の実践力を身につけ、心理援助者として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意欲

⑤倫理観・社会的責任

＊人間の健康、適応、成長に関わる心理援助者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

国語、英語、数学を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では、生命や自然現象を科学的、論理的に理解するための幅広い知識の修得が、社会系科目では、人の生活の背景となる文化、歴史、社会に関して多様な視点から把握できる姿勢が期待されます。国語では、事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し、表現したり、他者とのコミュニケーションを確立するための、英語では、英文教科書や学術論文の読解や論述、国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための、数学では、数的処理に基づいた論理的思考力や統計のための基礎的学力を身につけていることが期待されます。

5. 選抜方法の趣旨

○一般入試

* 前期日程

臨床心理学を学ぶために必要な広範囲の基礎学力を大学入試センター試験により評価します。

また、個別学力検査では、国語又は数学、英語、面接を課します。国語又は数学について、国語は考えを論理的に展開したり、文章にまとめたり、適切に表現できる能力を、数学は推理能力や論理的な能力を評価するため、文系と理系の学生を幅広く評価するため選択教科として実施します。英語は大学において、国際的なコミュニケーション能力を評価するために実施します。面接では、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協調性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

創 造 工 学 部

1. 教育理念

我が国のものづくり産業は「大量生産」「大量消費」の時代から、「ものづくり」さらには「ことづくり」におけるイノベーション創出の時代に変遷しており、人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い「もの」や「こと」を創り出す「デザイン思考能力」を有する人材が必要とされています。さらに、「もの」や「こと」が創造的で新しいものであればそれを実現するためには相対的に高いリスクが存在し、また、「もの」や「こと」には平時にのみならず危機に瀕しても価値を発揮することが求められていることから、「リスクマネジメント能力」を有する人材も必要とされています。創造工学部は、これらの能力を備えた「次世代型工学系人材」を輩出するため、以下のような教育理念を定めています。

香川大学創造工学部では、人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て、人間と自然が調和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し、専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドを持ち、国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成します。

2. 教育目標

創造工学部では、以下の素養を育成することを目標としています。

- 1) 専門分野を問わず工学系人材として必要な数理的基礎力
- 2) 高い倫理観とそれに裏打ちされた対人コミュニケーション力及び異文化コミュニケーション力
- 3) 地域を理解し、地域と協働して価値の創造を行う力
- 4) 審美力、多様性理解力、企画力、プロトタイピング力などを統合したデザイン思考能力
- 5) 様々なリスクを把握・抽出し事前に対応策を講ずるとともに、想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力

3. 教育内容

創造工学部生が学ぶ科目は、「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。

「全学共通科目」は、全学生を対象に開設する科目で、人間的教養を高めるための教養教育科目です。1年次生を対象に大学の勉学に必要なスキルなどを少人数で学ぶ大学入門ゼミとIT社会において必要な能力を身につける情報リテラシー、現代社会の課題・問題を学ぶ主題科目などからなります。

「学部開設科目」は、各学部生を対象に開設する科目で、工学の専門家としての素養を身につけるための科目です。「学部開設科目」は、エンジニアとしての倫理観、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力などを身につけるための学部共通科目と、それぞれの分野の専門を深めるための専門科目に大別されます。

創造工学部は、「文化の創造」「安全の創造」「産業の創造」を担う人材が備えるべき専門性を育成するため7つのコースを開設します。各コースは以下に掲げる人材を育成するため、それぞれの特性を持った「専門科目」を提供します。

【造形・メディアデザインコース】

香川県は、美術・建築・工芸等の分野で、瀬戸内の自然や風土に育まれた優れた伝統・文化を持ちます。その価値を、今日的視点で多角的に研究・継承し、芸術的視点で統合しながら、工業製品・情報メディア等の造形・デザイン・制作に貢献できる創造的な人材を育成します。実践的なカリキュラムによって、優れたコミュニケーション能力、表現力を育成し、工業製品のデザイン、情報メディア・コンテンツのデザインに貢献できる人材を育成します。

【建築・都市環境コース】

少子高齢化や地方経済の衰退が進行するなかで、地域の限られた人的及び物的資源を活用し、安全・安心で快適に暮らすことができる地域社会の構築を目指し、建築、土木、環境等の関連分野を俯瞰し、これらを活かした質的価値の高い“暮らし”をデザインできる技術者を養成します。関連分野の基礎知識の習得に加えて、地域固有の自然環境や歴史文化、社会基盤、種々の建築物など社会を構成している諸要素に関する多様な技術を学び、資格を取得できます。

【防災・危機管理コース】

日本は首都直下地震や南海トラフ巨大地震のような国難といえる巨大自然災害だけでなく、国を超え地球規模の様々な危機にも直面しています。また、現在のようなグローバル化した世界では、ある地域の災害や事変が世界を震撼させる可能性もはらんでいます。本

コースでは、地域の強みと弱みをよく知り、経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び、何が脅威になるかという予見能力を持ち、ハードウェア、ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせ、危機を未然に防止し、防止できないときには危機が災害に、災害が破局に拡大しないように対処できる人材を育成します。

【情報システム・セキュリティコース】

ネットワークの急速な発展により世界中の情報システムは相互に接続されグローバル化しており、ユーザーフレンドリーでかつサイバー攻撃への耐性など高いセキュリティを持つ情報システムが求められています。本コースでは、このような要求に応えるために、グローバルなネットワークを利用するクラウドやビッグデータなどを対象とする情報システム技術、高い信頼性や安全性を確保するセキュリティ技術、利用者の立場で情報システムを設計できるヒューマンインタフェース技術を身につけ、地域、日本、世界からの情報システム・セキュリティのニーズに対応した情報システム設計ができる人材を育成します。

【情報通信コース】

インターネットとモノとが混然一体となったシステムが構築される IoT (Internet of Things) が注目されています。本コースでは、IoTの基盤技術である電子回路・通信・セキュリティ技術を身につけ、電子機器・情報通信機器の開発ができる人材を育成します。さらに、地域において必要とされる電力または通信関連の技術開発・システム運用を担うことができ、そこからグローバルに活躍できる人材を育成します。

【機械システムコース】

社会に貢献できる「付加価値」のある製品やサービスの提供を目指し、「先端的なもののづくり」をリードする高度な機械系技術者を養成します。機械工学の基礎として解析力、力学、制御技術、設計・製図を身に付け、その上で、高度な機械システムを形成するために必要な電気電子、情報分野の知識についても学びます。そのため、自動車、電機、情報、鉄鋼、医療機器など機械システムに関わる様々な分野で技術者として活躍できます。

【先端マテリアル科学コース】

物質に対する化学や物理の理解を深めることは、マテリアル科学の基礎であり、安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料開発に不可欠です。本コースでは「環境材料化学」・「機械材料科学」・「光・電子材料科学」の三分野にわたる幅広い教育研究を実践します。さらに、多面的・全体的な視野を養うデザイン思考教育とマテリアルにかかわるリスクマネジメント能力を養う教育を採り入れて、地域や社会のニーズに応えながら未来の社会を構築する人材を育成します。製造業、化学、金属、素材メーカー、電気・電子部品等、様々な分野で活躍が期待されます。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている人を求めています。

①知識・技能

*高等学校等における国語、外国語、数学、理科などを中心に、幅広い学習に裏付けされた本学部の専門領域を学ぶために必要な基礎学力・技能

②思考力・判断力・表現力

＊本学部の専門領域の分野を多角的かつ包括的に捉え、それぞれの問題を解決するための論理的思考能力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊物事を多面的な視点から思考し、自分の考えを他者からもわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊本学部の専門領域のいずれかの分野に興味関心を持って自ら積極的かつ継続的に課題に取り組む意欲と審美眼を持ち、身につけた知識・技術を分かりやすく表現し、共生環境創造、地域社会創造及び国際社会に役立てる意欲・態度

＊技術者として国内外を問わず社会に発信し、生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊本学部の専門領域における技術者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において、国語、外国語、数学、理科などを中心に基礎学力を身につけておいください。本学部の理念を理解し、技術専門職として、他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることのできるコミュニケーション能力も必要ですので、生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいください。

5. 選抜方法の趣旨

＊前期日程

多様な能力・志向を持つ学生を確保するため、試験科目の組み合わせとして、高等学校等で理系科目を中心として履修した人を対象とするもの（Aタイプ）、必ずしもそれに当てはまらない場合でも本学部の教育に興味がある人を対象とするもの（Bタイプ）の2種類を用意しています。造形・メディアデザインコース及び防災・危機管理コースを希望する人については、Bタイプも選択できます。前期日程では、従来の文系理系の枠にとらわれない広い視点に基づく創造工学を目指す学生を求めるために大学入試センター試験では5教科7科目（Bタイプ志願者は、理科の選択科目によっては5教科6科目）を課しています。個別学力検査では、基礎的な理数系科目（数学、物理、化学）から1科目を課しており、Bタイプの造形・メディアデザインコース志願者は総合問題を、防災・危機管理コース志願者は地学も選択できます。

＊後期日程

後期日程では、科学技術に関するさまざまな問題に対する判断力や対応能力、将来国際社会で活躍するための基礎的能力などを総合的に問います。そこで、大学入試センター試験では、5教科7科目を課しています。また、個別学力検査では「21世紀にあるべき工学」を学ぶために必要な資質、能力などを問うことを目的とした小論文を課しています。

農 学 部

1. 教育理念

香川大学農学部は、先端的かつ総合的な生物科学を基礎に、自然と調和した安全で快適な地域社会を実現するための教育と研究を行うことにより、豊かな人間性と国際的な視野、課題探求能力を備え、生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し、生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材を養成することを目指します。

2. 教育目標

香川大学農学部では、生物資源の生産と活用に関する幅広い知識と技能を身につけ、科学的な思考に基づく課題設定力、国際感覚を備えた判断力及びコミュニケーション力を備え、多様で広範な社会の諸課題の解決に向けて柔軟な思考によって取り組むことのできる「農学の実践力」を持って国際的協働社会の一員として自覚的に行動できる人材を育成します。

3. 教育内容

農学部生の履修する授業科目は「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は幅広い教養を身につけるために全学学生を対象に開設された授業科目であり、「主題科目」「大学入門ゼミ」「情報リテラシー」「学問基礎科目」「健康・スポーツ実技」「高度教養教育科目・広範教養教育科目」「外国語科目」の7つの区分があります。「学部開設科目」には専門の基礎固めのための「導入科目」と「共通基礎科目」、高度な専門性を身につけるための「コース専門科目」、さらに社会的課題などに視野を広げるための「共通展開科目」が設けられています。

農学部は応用生物科学科の1学科制を採用しています。入学後、まず学部共通の導入科目と共通基礎科目を履修し、生物科学の基礎を身につけます。この間に、自らの学習の方向性と適性を把握し、2年後期からは以下の5つのコースに分かれ専門科目を履修し、学修を体系的に完成させます。

1) 応用生命科学コース

近年の生命科学やバイオテクノロジーのめざましい発展により、生命現象や生物が作る物質の特性や機能を分子レベルで解明して利用することが可能になってきました。応用生命科学コースでは、微生物から高等動植物までの様々な生命活動を分子・遺伝子レベルで明らかにする生命科学の基礎から、その成果を有用生物の開発や生物資源の有効利用へと役立てるための応用技術まで幅広く学ぶことができます。

2) 生物生産科学コース

21世紀の豊かな社会の発展に求められる安全で安定的な食料供給と、生活に潤いをもたらす園芸資源の生産開発をめざして、遺伝子資源の評価と品種改良、生産技術・環境や生産物の流通・利用システムなどを、フィールドからバイオまで体系的かつ実践的に学びます。基礎から応用までの理論を体系的に学習し、連携した実験やフィールド（農場）実習を通して自ら検証できるユニークな教育体制を有しています。

3) 環境科学コース

生物と環境との相互作用、環境中の物質循環について学びます。特に里海・里山・身近な水辺を主な対象として、化学的・生物学的手法をはじめとする様々な分野の手法と理論を活

用し、フィールド及び実験室で調査解析に取り組みます。さらに、環境問題や生物の利用・管理・保全に対して実践的に取り組む力を身につけます。

4) 生物資源機能化学コース

生体の様々な機能を物質レベルで理解し、多様な生物資源の効率的な利用法の開発に必要とされる基礎的知識の修得を目標とします。特に、有用な機能を持つ生物由来の化学物質の探索法、それらの生成・作用メカニズムや分子構造を解明するための化学的手法、さらに再生産可能資源としてのバイオマスの高度利用法について重点的に学びます。

5) 食品科学コース

食品の持つ人間に対する種々の生体調節機能を科学的に理解し、食品の（１）機能性（２）安全性（３）嗜好性・加工特性について学びます。講義と実験・実習（学外の工場又は研究所見学なども含む）を組み合わせ、基礎から応用、そして実践的内容のカリキュラムで、安全で、機能性が高く、様々な嗜好性に対応できる食品を開発できる人材の育成を行っています。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊農学部専門科目を学ぶために必要な基礎的な知識と技能

②思考力・判断力・表現力

＊課題解決に必要な柔軟で論理的な思考力・判断力と自分の考えを的確に伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊地域社会や国際社会における生物資源の生産・利用に関する広範な諸課題を積極的かつ主体的に探求し、多様な観点で考え、他者と協働して課題を解決するコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち、関連する様々な課題に積極的・主体的に取り組もうとする高い意欲

＊生物関連産業での活躍を希望し、応用生物科学の様々な分野の専門知識や技術を意欲的に修得しようとする態度

⑤倫理観・社会的責任

＊生物資源の生産と利用に関わる者として、自然と調和した安全で快適な人間社会を構築するための高い倫理観と社会的責任を理解する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校において、理科、数学、国語、英語を中心とした基礎学力を身につけておいてください。農学部では、先端的かつ総合的な応用生物科学を理解し、生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために理科と数学の基礎学力が必要となります。また、生物資源の生産と利用に関する情報を理解し、自らの論理的思考及び判断をもってこれを説明できるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養うことを目標としています。これらを日本語だけでなく英語でも可能にするために国語と英語の基礎学力が必要です。

5. 選抜方法の趣旨

* 前期日程

高等学校における教科面での学習の達成度をみるために大学入試センター試験 5 教科 7 科目の得点を評価します。個別学力検査では、農学部における勉学の素地として自然科学を重視し、数学と理科から 1 教科 1 科目選択とします。

Ⅱ 募集人員

学 部	学科・課程・コース等		募集人員（人）		
			前期日程		後期日程
教 育 学 部	学校教育教員 養 成 課 程	幼 児 教 育 コ ー ス	8		
		小 学 校 教 育 コ ー ス	55		18
		中 学 校 教 育 コ ー ス	A系	14	7
			B系	10	
			C系	4	
	計		91		25
法 学 部	(昼間コース)	法 学 科	75		35
	計		75		35
	経 済 学 部	(昼間コース)	経 済 学 科	110	
計		110		35	
医 学 部		医 学 科		※50	
	看 護 学 科		35		
	臨 床 心 理 学 科		20		
	計		105		25
創造工学部	創造 工 学 科	造形・メディアデザインコース		184 Aタイプ° 167 Bタイプ° 17	49
		建 築 ・ 都 市 環 境 コ ー ス			
		防 災 ・ 危 機 管 理 コ ー ス			
		情報システム・セキュリティコース			
		情 報 通 信 コ ー ス			
		機 械 シ ス テ ム コ ー ス			
		先 端 マ テ リ ア ル 科 学 コ ー ス			
	計		184		49
農 学 部	応 用 生 物 科 学 科		105		
	計		105		
合 計			670		169

【教育学部】

1. 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 前期日程では、A系、B系、C系の3系ごとに試験を実施します。
- 系は個別学力検査等における教科・科目等の区分を表すもので、A系が国語又は外国語、B系が数学又は理科、C系が実技検査（音楽、美術、保健体育からいずれか1つ選択）です。
2. 学校教育教員養成課程は、下記の組み合わせの中で志望順位をつけて第2志望まで志願することができます。

前期日程	① 幼児教育コースと小学校教育コース ② 小学校教育コース（国語又は外国語受験者）と中学校教育コースA系 ③ 小学校教育コース（数学又は理科受験者）と中学校教育コースB系 ④ 小学校教育コース（実技検査受験者）と中学校教育コースC系
後期日程	小学校教育コースと中学校教育コース

3. 学校教育教員養成課程には、次のコース・領域があります。

課 程	コ ー ス	領 域
学校教育教員 養成課程	幼 児 教 育 コ ー ス	
	小 学 校 教 育 コ ー ス	教育領域、心理領域、生活・総合領域、 特別支援教育領域、 国語領域、社会領域、数学領域、理科領域、音楽領域、美術 領域、保健体育領域、技術領域、家庭領域、英語領域
	中 学 校 教 育 コ ー ス	国語領域、社会領域、数学領域、理科領域、音楽領域、美術 領域、保健体育領域、技術領域、家庭領域、英語領域

4. 各コース内での領域への所属は2年次からです。
- 個別学力検査等で選択した受験教科・科目及び系は、2年次からの領域の選択とは関係しません。

【医 学 部】

※ 募集人数は前期日程が59人（「地域医療推進枠」9人を含む。）、後期日程が25人となるよう調整中です。

人数については予定であり、変更があり得ます。確定次第、本学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/>）ですみやかに公表します。

【創造工学部】

創造工学科前期日程では、AタイプとBタイプの2タイプの試験があります。Aタイプは全コース（7コース）へ志願することが可能で、志望順位をつけて第7志望まで志願できます。Bタイプは造形・メディアデザインコースと防災・危機管理コースのいずれかへ志願することができます。

創造工学科後期日程では、志望順位をつけて第7志望まで志願できます。

創造工学部の受入人員の目安は以下のとおりです。

(人)

学科	コ ー ス	受入人員の目安	前期Aタイプ	前期Bタイプ	後期
創造工学科	造 形 ・ メ デ ィ ア デ ザ イ ン	30	13	12	5
	建 築 ・ 都 市 環 境	39	33	0	6
	防 災 ・ 危 機 管 理	15	7	5	3
	情 報 シ ス テ ム ・ セ キ ュ リ テ ィ	29	24	0	5
	情 報 通 信	30	24	0	6
	機 械 シ ス テ ム	48	36	0	12
	先 端 マ テ リ ア ル 科 学	42	30	0	12
合 計		233	167	17	49

(注) 各コースの受入人員の目安は入学定員ではありません。

【そ の 他】

入学定員に欠員が生じた場合には、追加合格及び欠員補充第2次募集を行うことがあります。

IV 一般入試（前期日程・後期日程）

1. 出願資格

入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目（36～52ページ参照）を本学が指定した方法で受験した者としてします。

なお、本学では大学入試センター試験の過去の成績は利用しませんので、本年度行われる大学入試センター試験を必ず受験してください。

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2020年3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2020年3月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格（合格見込みを含む。）した者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの（※1）
 - カ 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定（平成17年4月廃止）に合格した者
 - キ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの（※2）
- ※1 高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても、2020年3月31日までに18歳に達しない者は、出願資格がありません。
- ※2 出願資格の「ク」により出願する者は「事前審査」を行いますので、63ページ「12. 出願資格審査について」に従って手続を行ってください。

（注）医学部医学科の地域医療推進枠に出願できる者は、上記の出願資格に該当し、かつ、「地域医療推進枠」で出願し合格した場合は、次の要件すべてを満たして入学を確約できる者に限ります（募集については調整中）。

なお、地域医療推進枠に出願する者は、通常の一般入試（一般枠）を併せて出願することができます（募集については調整中）。

- ① 香川県内の高等学校を卒業した者又は2020年3月までに卒業見込みの者
- ② 「香川県医学生修学資金」の貸付けを受ける者
- ③ 将来、香川県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）医師の業務に従事する意志のある者

※「香川県医学生修学資金」の詳細は、香川県ホームページ（<https://www.pref.kagawa.lg.jp/>）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。

2. 出願手続

出願は、下記期間内に①出願登録、②検定料払込、③出願書類等の郵送をすることによって完了します（①②③のいずれかが行われなかった場合は出願が受け付けられません。）。

〔1〕出願期間および出願方法

出願登録期間	検定料払込期間	出願書類等郵送期限
1月27日（月）10時～ 2月5日（水）17時 ※1月20日（月）10時よりインターネット 出願サイトへの入力（出願内容の下書 保存）が可能です。	1月27日（月）10時～ 2月5日（水）17時	2月5日（水）17時必着 ※郵送期限以降に書類が届いた場合は、2 月3日（月）までの消印があり、かつ 簡易書留・速達郵便であるものに限り受 け付けます。 ※2月5日（水）9時～17時に限り、出願 書類等の持参を認めます。受付場所は香 川大学入試グループです。

■必要なインターネットの環境

パソコン	Windows：InternetExplorer バージョン11.x Microsoft Edge（最新バージョン） Google Chrome（最新バージョン） Firefox（最新バージョン）
	MacOS：Safari（最新バージョン）
スマートフォン タブレット	Android（5.0以上）：Android Chrome iOS（10.0以上）：Safari

※ セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますので
ご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。

※ メールアドレスについて

出願登録の際にメールアドレスが必要です。登録したメールアドレスはIDとして利用するだけでなく、出願に関する重要なお知らせが配信されますので、日常的に受信を確認できるメールアドレスを登録してください（スマートフォン・携帯電話等のアドレスも可。同一メールアドレスで複数IDの登録はできません。）。メールアドレスを持っていない場合は、フリーメール（Gmail, Yahoo!メール等）を取得してください。携帯電話でドメイン指定受信設定をしている場合は「@jim.ao.kagawa-u.ac.jp」からのメールが受信できるように設定してください。

※ PDF閲覧ソフトについて

PDFを表示するにはアドビシステムズ社のAdobe Acrobat Reader（無償）が必要です。他アプリケーションではPDFが正しく表示されない恐れがあります。すでにAdobe Acrobat Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。

STEP 1

出願登録を行う

1

香川大学ホームページから「インターネット出願サイト（<https://portal.postanet.jp/shikoku/entry>）」にアクセスしてください。

2

インターネット出願サイトのユーザー登録を行ってください。

- インターネット出願サイトのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- 利用規約に同意した後、メールアドレスを入力して「登録」ボタンをクリック。
- 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
- 仮登録メールの受信から60分以内にパスワードを設定し、「利用登録」ボタンをクリック。

3

登録したメールアドレスとパスワードでインターネット出願サイトにログインしてください。

4

出願内容（入試区分、学部学科等）、志願者情報等の必要事項（※30ページ参照）を画面の指示に従って入力してください。

支払方法『クレジットカード』を選択

カード情報を入力し、決済完了
※クレジットカードの名義人は志願者と同一である必要はありません。



支払方法『コンビニ』『ペイジー』を選択

支払い番号確認画面

※支払いに必要な番号を
必ずメモしてください。

STEP 2 へ



志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容に誤りがないか、十分に確認してください。

なお、現住所の入力にあたっては、本学から送付する書類が必ず届く住所を、連絡先（電話番号）については、携帯電話番号と固定電話番号等、可能な限り2つ入力してください。

STEP 2

検定料を払い込む

検定料 17,000円

※検定料の他に、払込手数料（支払い方法にかかわらず一律550円）が必要です。

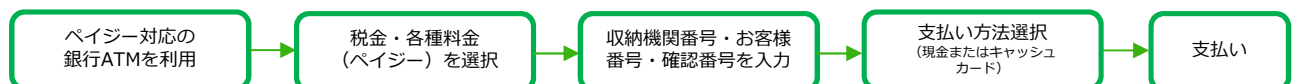
■ クレジットカード

カード情報を入力すれば、決済が完了します（支払方法は一括払いのみ）。クレジットカードの名義人は志願者と同一である必要はありません。

■ コンビニ

デイリーヤマザキ/ ヤマザキデイリーストアー	ローソン/ ミニストップ	セイコーマート	ファミリーマート	セブンイレブン
Web画面に表示された「オンライン決済番号」	Web画面に表示された「受付番号」	Web画面に表示された「受付番号」	Web画面に表示された「第1番号(企業コード20020)」 「第2番号(注文番号12桁)」	「払込票」を印刷 または Web画面に表示された「払込票番号」
	Loppi (ロッピー)	クラブ ステーション	Famiポート	
				
	「各種番号をお持ちの方」ボタンを押す	「インターネット受付」ボタンを押す	「代金支払い」ボタンを押す	
	「受付番号」を入力		「収納票発行」ボタンを押す	
	「お申込みした電話番号」を入力	「受付番号」を入力	「第1番号(企業コード20020)」を入力	
			「第2番号(注文番号12桁)」を入力	
	 「申込券」 発券	 「申込券」 発券	 「Famiポート 申込券」発券	
	発券から30分以内にレジへ	発券から30分以内にレジへ	発券から30分以内にレジへ	印刷した「払込票」を渡す または レジで番号をお知らせください。

■ ペイジー（銀行ATM）



■ ペイジー（ネットバンキング）

収納機関番号・お客様番号・確認番号を控え、各自で支払い方法を確認し検定料を払い込んでください。

STEP 3

出願書類等を郵送する

1 出願書類と封筒貼付用宛名シートを印刷

- 決済完了後、インターネット出願サイトに再ログインし「詳細を確認」画面に進んでください。画面下部にある「入学願書ダウンロード」ボタン及び「封筒貼付用宛名シートダウンロード」ボタンをクリックして出願書類等のPDFファイルをダウンロードし、A4用紙に印刷してください。



2 郵送用の封筒を準備

- 任意の角形2号封筒（240mm×332mm）を準備してください。
- 印刷した封筒貼付用宛名シートを、角形2号封筒に貼り付けてください。



3 出願書類等を郵送

- 郵送が必要な出願書類等（※31ページ参照）が全て封入されていることを確認し、簡易書留・速達で郵送してください。
- 出願書類等の到着期限は2月5日（水）17時（必着）です。

※到着期限以降に書類が届いた場合は、2月3日（月）までの消印があり、かつ簡易書留・速達郵便であるものに限り受け付けます。

※2月5日（水）9時～17時に限り、出願書類等の持参を認めます。受付場所は香川大学入試グループです。



STEP 1～STEP 3を、すべて期限内に完了することによって、出願が受理されます（出願登録・検定料払込・出願書類等郵送のいずれかが行われなかった場合は、出願を受理できません。）。出願期間を十分に確認の上、できるだけ余裕をもって出願してください。



インターネット出願サイトの出願履歴画面で受付状況を確認できます。出願が受理され受験番号が付番された時点で、「受付完了」となり、当該欄に完了日時が表示されます。受付完了までしばらくお時間をいただくことがあります。なお、郵送状況の確認は、簡易書留受領証に記載されている引受番号を使って日本郵便ホームページの郵便追跡サービスから追跡（検索）してください。

STEP 4

受験票を印刷する

下記期間中にインターネット出願サイトにログインし、「受験票ダウンロード」ボタンをクリックして受験票をダウンロードし、A4用紙に印刷してください。

受験票ダウンロード期間

【前期日程】

2月11日（火・祝）10時 ～ 2月26日（水）20時

【後期日程】

2月11日（火・祝）10時 ～ 3月12日（木）20時

STEP 5

個別学力検査等を受験

個別学力検査等当日は、印刷した受験票と大学入試センター試験受験票を必ず持参してください。

インターネット出願に関するQ&A

Q 氏名や住所の漢字が、登録の際にエラーになってしまいます。

A 氏名や住所などの個人情報を入力する際に、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになる場合があります。その場合は、代替の文字を入力してください。
〈例〉 高木→高木 山崎→山崎 (ローマ数字) III→3

Q ポップアップがブロックされ画面が表示できません。

A GoogleツールバーやYahoo!ツールバーなどポップアップブロック機能を搭載しているツールバーをインストールしている場合、ポップアップ画面が表示されない場合があります。本学のインターネット出願サイト(「portal.postanet.jp」及び「www.postanet.jp」)のポップアップを常に許可するよう設定してください。

Q コンビニ・ペイジーでの支払いに必要な番号を忘れました。

A インターネット出願サイトにログインすると、支払番号の確認画面を再表示できます。

Q ダウンロードした出願書類のPDFファイルを表示できません。

A PDFを表示するには、Adobe Acrobat Reader(無償)が必要です。すでにAdobe Acrobat Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。

Q 出願書類を印刷するためのプリンターがありません。

A コンビニのプリントサービス等の利用をご検討ください。

Q 出願登録後に出願内容を変更することはできますか？

A 【志願者情報(住所・氏名・電話番号・志願者履歴等)を変更したい場合】
出願登録後は出願情報の変更ができません。検定料を支払う前であれば、既に登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行ってください。検定料を支払った後に誤りがあることが分かった場合は、印刷した入学願書に赤字で修正を加えてください(訂正印は不要)。

【地域医療推進枠志望理由書を変更したい場合】

検定料を支払う前であれば、変更可能です。出願サイトにログインし、「詳細を確認」画面に進んでください。画面上部にある「活動記録を編集」ボタンをクリックし、登録内容を変更してください(地域医療推進枠の募集については調整中)。

インターネット出願の操作方法
に関する照会先

インターネット出願専用コールセンター
(075) 211-6556
受付期間：1月20日(月)～1月24日(金) 9:00～17:00
1月27日(月)～2月5日(水) 9:00～20:00※土日を含む

【2】インターネット出願サイトで入力する項目

下表の①～③と、該当者のみ④、⑤を入力してください。

(全員が入力するもの)

番号	入 力 項 目	注 意 事 項
①	入試区分・学部を選択	志望する入試方式と学部を選択してください。
②	出願者の基本情報	必要事項を入力してください。
③	出 願 者 の 写 真	出願者本人の顔写真のデータをアップロードしてください。 【顔写真の規格】 ・カラー ・出願前6ヶ月以内に撮影したもの ・正面向き、胸から上を撮影したもの ・無帽、無背景であること ・鮮明で、影のないもの ・写真サイズ比率 縦4:横3 (出願サイト上でトリミング可能) ・ファイル形式:JPEG(ファイルサイズ上限 3.0MB) ※証明写真をカメラで再撮影したものをアップロードしないでください。

(上記の他に該当者が入力するもの)

医学部(医学科・看護学科・臨床心理学科)志願者		
④	志 願 者 履 歴	高等学校に在学中の者は高校の学歴のみを入力してください。 高等学校を卒業している者は卒業から現在までの経歴について詳細に入力してください。自宅学習及び予備校学習も入力し、空白期間を作らないでください。 大学に在学中の者又は在学したことがある者は、大学・学部・学科名及びその在学期間を入力してください。 職歴がある者は、会社名及びその在職期間を入力してください。 高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は、最終学歴から現在に至るまでの経歴を詳細に入力してください。

医学部医学科 地域医療推進枠志願者(募集については調整中)		
⑤	地 域 医 療 推 進 枠 志 望 理 由 書	以下のことについて、800字以内で入力してください。 あなたは、なぜ地域医療推進枠を志願しようと思いましたか。地域医療に関してどのような興味を持っていますか。また、将来どのような地域医療に関わりたいと思っていますか。

【3】郵送が必要な出願書類等

インターネット出願サイトで入力及び検定料の支払いを行った後、下表の①～③と、該当者のみ④～⑥を郵送してください。

(全員が提出するもの)

	出 願 書 類 等	注 意 事 項
①	入 学 願 書	28 ページの手順に従って該当ファイルをダウンロードし、A4 用紙に印刷してください。 ※「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックすることでダウンロードできます。
②	大学入試センター 試験成績請求票	入学願書の所定の欄に、「令和2センター試験成績請求票(前期日程用又は後期日程用)」を貼付してください。
③	調 査 書 等	1. 高等学校を卒業した者及び 2020 年3月までに卒業見込みの者は、出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 2. 高等専門学校第3学年修了者及び修了見込みの者並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者については、出身学校において文部科学省所定の調査書に準じて作成された書類をもって調査書に代えることができます。 3. 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者については、当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。 4. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者は、当該試験の合格証明書(合格成績証明書を含む。)又は合格証書を提出してください。高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は、「高等学校卒業程度認定試験合格見込成績証明書」又は、当該試験の「科目合格証明書」及び試験科目に相当する科目の単位修得見込証明書を提出してください。 なお、過去に高等学校に在学したことがある者は、在学期間中の調査書を併せて提出してください。 出身学校の事情(廃校、被災、文書保管期間の超過等の理由)により調査書が得られない場合は、卒業証明書及び成績証明書又は単位修得証明書、成績通信簿等をもってこれに代えることができます。各証明書の発行対象に該当しない場合は、本証明書に代わり、証明書を発行することができない旨を証明する書類を提出してください。なお、旧姓(名)で作成された証明書等を使用する場合は戸籍抄本を、通名で作成された証明書等を使用する場合は、通名登録のうえ、住民票の写しを併せて提出してください。

(前記のほか該当者が提出するもの)

教育学部 実技検査(音楽)志願者のうち歌曲のウ・カを希望する者		
④	移 調 楽 譜 (伴奏譜を含む)	実技検査で演奏する曲の移調楽譜1部(伴奏譜を含む)を提出してください。

医学部(医学科・看護学科・臨床心理学科)志願者		
⑤	志 願 者 履 歴	①入学願書と同様に，インターネット出願サイトの「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックしてファイルをダウンロードし，A4 用紙に印刷してください。

医学部医学科 地域医療推進枠志願者(募集については調整中)		
⑥	地域医療推進枠 志 望 理 由 書	①入学願書と同様に，インターネット出願サイトの「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックしてファイルをダウンロードし，A4 用紙に印刷してください。

〔4〕出願上の注意事項

(1) 併願について

志願者は、前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、合計3つの国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）に出願することができます。いわゆる「前期－前期」、「後期－後期」のそれぞれの組み合わせの併願はできません。

※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/nyushi>)参照

(2) 推薦入試による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部の推薦入試に合格している者は、当該推薦入試を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。

(3) AO入試による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部のAO入試に合格している者は、当該AO入試を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。

(4) 前期日程試験による合格者の取扱い

本学又は他の国公立大学の前期日程に合格し、2020年3月15日（日）までに入学手続を完了した者は、後期日程を受験しても、その合格者とはなりません。

(5) 学内併願について

本学の異なる日程の学部間又は同一学部への併願は妨げません。

(6) 出願書類等について

1. 出願書類が不備の場合は受理できません。
2. 出願書類提出後は、記載内容の変更を認めません。
3. 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ③ 医学部医学科及び臨床心理学科における第1段階選抜で不合格になった場合、本人の申出により13,000円を返還します（この場合の手続方法については、第1段階選抜結果を発表する際に該当者に通知します。）。
 - ④ 願書受理後、本学が課している大学入試センター試験の教科・科目を受験していないため、個別学力検査等を受験できないことが判明した場合、該当者には検定料の返還方法について通知します。その後、本人の申出により13,000円を返還します。

上記①又は②に該当される方は、香川大学入試グループへご連絡ください。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査等の成績及び調査書の内容等を総合して行います。

《合否判定基準等》

- ・ 総合点により合否を判定します。
- ・ 教育学部学校教育教員養成課程では、23ページのとおりに第2志望までコースの志願ができます。この場合、高得点者から、志望順位により合格となるコースを振り分けます。
- ・ 創造工学部前期日程Aタイプ及び創造工学部後期日程では、全コース（7コース）に志願することが可能で、志望順位をつけて第7志望まで志願できます。この場合、高得点者から、志望順位により合格となるコースを振り分けます。創造工学部前期日程Bタイプでは、造形・メディアデザインコースと防災・危機管理コースのいずれかに志願することができます。
- ・ 医学部医学科前期日程では、総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。これに加え、地域医療推進枠では、香川県による面接の結果を参考として合否を決定します（募集については調整中）。
- ・ 医学部看護学科及び臨床心理学科前期日程では、総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。
- ・ 医学部医学科後期日程では、総合点の如何にかかわらず小論文又は面接の結果をもって不合格となることがあります。
- ・ その他、各学部での選抜方法等については、〔1〕大学入試センター試験の利用教科・科目等、〔2〕個別学力検査等の実施教科・科目等の注意欄等を参照してください。

《大学入試センター試験及び個別学力検査等の取扱いについて》

- ・ 本学が課している大学入試センター試験の教科・科目を本学が指定した方法で受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、注意してください。
- ・ 大学入試センター試験の外国語で『英語』を選択する受験者は、必ず「筆記」と「リスニング」の両方を受験してください。
両方を受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができません。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- ・ 本学が課している大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目等全てを受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

〔1〕大学入試センター試験の利用教科・科目等

大学入試センター試験の利用教科・科目及び利用方法は、別表(36～52ページ参照)のとおりです。

大学入試センター試験において、「地理歴史」及び「公民」並びに「理科②」の試験時間に2科目受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

〔2〕個別学力検査等の実施教科・科目等

個別学力検査等の実施教科・科目等及び学部ごとの選抜方法は、別表（36～52ページ参照）のとおりです。

出願後は、選択した科目を変更することはできません。

〔3〕2段階選抜（医学部 医学科，臨床心理学科）

医学部医学科及び臨床心理学科においては，入学志願倍率が次の倍率を超えた場合に2段階選抜を実施します。

学科	日程	
	前期日程	後期日程
医 学 科	約 5 倍	約12倍
臨床心理学科	約 6 倍	

第1段階選抜は，大学入試センター試験の成績（前期日程・後期日程の選抜における配点）及び調査書の内容により行います。

第1段階選抜の合格者の発表については，58ページ「5. 合格者発表〔1〕第1段階選抜合格者の発表」をご覧ください。

第1段階選抜の合格者を対象に個別学力検査等を実施し，最終的な合格者を決定します。

別表 大学入試センター試験の利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等について（一般入試）
【教育学部】

学科等名		学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
			教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
学校教育教員養成課程	幼児教育コース・ 小学校教育コース	前期日程	国	『国語』	必須	外国語	『国語』 『英語』 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ』又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ』 『物基・物』、『化基・化』、『生基・生』 『地学基・地学』から1科目選択 『音楽』、『美術』、『保健体育』から1つ選択	から1教科 〔1教科1科目〕
			地歴	『世界史A』、『世界史B』、『日本史A』、『日本史B』 『地理A』、『地理B』 から1又は2科目	から1又は2科目	理		
			公民	『現社』、『倫』、『政経』 『倫・政経』から1科目	から1又は2科目	実技検査		
	小学校教育コース	後期日程	理	(1)『物基』、『化基』、『生基』 『地学基』から2科目 (2)『物』、『化』、『生』、『地学』 から1科目	から3科目 (理科で(1)又は(3)を選択する場合は4科目)	その他	小論文	
	中学校教育コース	前期日程	A系	(3)『物基』、『化基』、『生基』 『地学基』から2科目 並びに『物』、『化』、『生』 『地学』から1科目	(1)～(4)のいずれか	外国語	『国語』 『英語』	から1教科 〔1教科1科目〕
			B系	(4)『物』、『化』、『生』、『地学』 から2科目		数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ』又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ』 『物基・物』、『化基・化』、『生基・生』 『地学基・地学』から1科目選択	から1教科 〔1教科1科目〕
			数	『数Ⅰ・数Ⅱ』 『数Ⅲ・数Ⅳ』、『簿・会』、『情報』	必須 から1科目	実技検査	『音楽』、『美術』、『保健体育』から1つ選択	
		後期日程	C系	外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1科目	その他	小論文	
				〔5教科7科目又は6教科7科目（理科で(1)又は(3)を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目）〕				

(注) 【学科等名】、【学力検査等の区分】欄

学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程は、A、B、Cの3系列に募集します。

系は個別学力検査等における教科・科目等の区分を表します。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目)

2 地歴及び公民については、『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』から1又は2科目、『現代社会』

『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』から1科目までの成績を用います。

3 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。(右表「大学入試センター試験の配点等」参照)

●地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)又は(4)を選択してください。なお、理科で(3)を選択する場合には、同一

名称を含む出題科目同士の選択はできません。

●地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)～(4)のいずれかを選択してください。

●地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア、地歴、公民の第1解答科目

イ、地歴、公民の第2解答科目

ウ、理科の基礎を付した科目（2科目の合計）

エ、理科の基礎を付さない科目

ただし、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、ア、イの2科目の成績と、ウ、エのうち高い方の成績を用います。

また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及

び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

4 『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専

修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

5 外国語で『英語』を選択した場合は、筆記試験及びリスニングの成績を利用します。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1 学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程の教科・科目等は、A系が国語又は外国語、B系が数学又は理科、C系が実技検査（『音

楽』、『美術』、『保健体育』からいずれか1つ選択）です。

2 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ』・・・1科目、『物基・物』・・・1科目)

3 『国語』

4 数学

『国語総合』、『現代文B』、『古典B』の3科目を合わせた範囲から出題します。

『数Ⅰ』、『数Ⅱ』、『数Ⅲ』、『数Ⅳ』の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は『数Ⅰ』、『数Ⅱ』、『数Ⅲ』

『数Ⅳ』の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。

『数Ⅳ』は（場合の数と確率）、（図形の性質）を、『数Ⅲ』は（数論）、（ベクトル）を出題範囲とします。

ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。

5 外国語『英語』

『コミュニケーション英語Ⅰ』、『コミュニケーション英語Ⅱ』、『コミュニケーション英語Ⅲ』、『英語表現Ⅰ』、『英語表現Ⅱ』

の5科目を合わせた範囲から出題します。

6 理科

『物基・物』は、『物理基礎』と『物理』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

『化基・化』は、『化学基礎』と『化学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

『生基・生』は、『生物基礎』と『生物』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

『地学基・地学』は、『地学基礎』と『地学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

7 小論文

広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
- 4 大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅵの6通りです。

大学入試センター試験の配点等												
学科名等	選択パターン	等学力検査 の区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等
						①	②	①	②			
学校教育教員養成課程	I 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は③を選択した場合	前期日程・後期日程	200	100		100	100	(50) (50) 100	100	200	900	
	II 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は④を選択した場合		200	100		100	100	/ /	100 100	200	900	
	III 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は①を選択した場合		200	100 200	100	100	(50) (50) 100	/		200	900	
	IV 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は②を選択した場合		200	100 200	100	100	/ /	100		200	900	
	V 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は③を選択した場合		200	*100 *200	/	100 100	100	(50) (50) *100	*100	200	900	*印を付したのものについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科①」、「理科②」のうち高い順に2つの成績を用います。 理科の③で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合に、*を付したのものについては、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。
				100	100							
				200	/							
VI 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は④を選択した場合	200	*100 *200	*100 /	100	100	/ /	*100 *100	200	900	*印を付したのものについては、「地歴、公民」、「理科」の各第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。		

【個別学力検査等の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等									
学科等名		学力検査等の区分	国語	数学	理科	外国語	実技	小論文	配点 合計
学校教育教員養成課程	幼児教育コース	前期日程	*200	*200	*200	*200	*200		200
	小学校教育コース	前期日程	*200	*200	*200	*200	*200		200
		後期日程						200	200
	中学校教育コース	前期日程	A系	*200		*200			200
			B系		*200	*200			200
			C系				200		200
		後期日程						200	200

【法 学 部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
(昼間コース) 法学科	前期日程	国	『国語』 必須	数 外	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 『英語』 から1教科 〔1教科1科目〕	
		地歴	〔『世B』, 『日B』, 『地理B』〕から1又は2科目			
		公民	〔『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』〕から1科目			
		数	〔『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』〕 から1科目 〔『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』〕 から1科目			
	後期日程	理	〔『物基』, 『化基』, 『生基』, 『地学基』〕から2科目又は 〔『物』, 『化』, 『生』, 『地学』〕から1科目	その他	小論文	
		外	〔『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』〕 から1科目 〔5教科7科目又は6教科7科目（理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目）〕			

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 理科について、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 基礎を付した科目(2科目の合計) イ. 基礎を付さない科目	} ア又はイのうち高得点の科目(アを用いる場合は2科目)
-------------------------------------	------------------------------

 また、理科について、指定した科目から基礎を付さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数A」, 「数B」の4科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く社会・政治・法律・人文等の分野から選んだ素材に即して論述するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
- 4 大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅷの8通りです。

大学入試センター試験の配点等														
学科等名	選択パターン	等学力 区分 検査	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等		
						①	②	①	②					
(昼間コース) 法学科	I 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目を選択した場合	前期日程・後期日程	200	100	100	100	100	(50)	(50)	100	200	900		
	II 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100			100	200	900		
	III 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目及び基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100	(50)	(50)	*100	200	900	*印を付したのものについては、高い方の成績を用います。	
	IV 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付さない科目から2科目を選択した場合		200	100	100	100	100			*100	*100	200	900	*印を付したのものについては、第1解答科目の成績を用います。
	V 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100	(50)	(50)	100		200	900	
	VI 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100				100	200	900	
	VII 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目及び基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100	(50)	(50)	*100		200	900	*印を付したのものについては、高い方の成績を用います。
	VIII 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付さない科目から2科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100				*100	*100	200	900

【個別学力検査等の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等					
学科等名	学力検査等の区分	数学	外国語	小論文	配点合計
(昼間コース) 法学科	前期日程	*300	*300		300
	後期日程			300	300

【経済学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
(昼間コース) 経済学科	前期日程	国	『国語』	必須	外	『英語』	〔1教科1科目〕
		地歴	(「世A」「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」)	から2科目 (理科で(1)又は(3)を選択する場合は3科目)			
		公民	(「現社」, 「倫」, 「政経」, 『倫・政経』)				
		理	(1) (「物基」, 「化基」, 「生基」, 「地学基」) から2科目 (2) (「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から1科目 (3) (「物基」, 「化基」, 「生基」, 「地学基」) から2科目並びに(「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から1科目 (4) (「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から2科目				
	後期日程	数	(「数Ⅰ」, 『数Ⅰ・数A』)				から1科目
			(「数Ⅱ」, 『数Ⅱ・数B」, 『簿・会』『情報』)	から1科目			
外		(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)	から1科目				
		〔4教科6科目又は5教科6科目(理科で(1)又は(3)を選択する場合は4教科7科目又は5教科7科目)〕					

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目)
- 地歴公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。(右表「大学入試センター試験の配点等」参照)
 ●地歴、公民から1科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 ア. 地歴、公民の1科目
 イ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)
 ウ. 理科の基礎を付さない科目
 ア～ウのうち高得点順に2科目(イを用いる場合は3科目)
 ただし、理科で同一名称を含む出題科目同士の選択した場合は、アの成績と、イ、ウのうち高い方の成績を用います。
- 地歴、公民から1科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 ア. 地歴、公民の1科目
 イ. 理科の第2解答科目
 ウ. 理科の第1解答科目・・・1科目
 ア、イのうち高得点のものを1科目
 2科目
- 地歴、公民から2科目並びに理科について(1)により2科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 ア. 地歴、公民の第1解答科目・・・1科目
 イ. 地歴、公民の第2解答科目
 ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)
 イ、ウのうち高得点のものを
 1科目(ウを用いる場合は2科目)
 2科目
- 地歴、公民から2科目並びに理科について(2)により1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 ア. 地歴、公民の第1解答科目・・・1科目
 イ. 地歴、公民の第2解答科目
 ウ. 理科の基礎を付さない科目
 イ、ウのうち高得点のものを1科目
 2科目
- 地歴、公民から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 ア. 地歴、公民の2科目の合計
 イ. 地歴、公民の第1解答科目と理科の基礎を付した科目(2科目の合計)の合計
 ウ. 地歴、公民の第1解答科目と理科の基礎を付さない科目の合計
 エ. 理科の3科目の合計
 ア～エの各合計点のうち最も高いもの
- 地歴、公民から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 ア. 地歴、公民の2科目の合計
 イ. 理科の2科目の合計
 ウ. 地歴、公民の第1解答科目と理科の第1解答科目の合計
 ア～ウの各合計点のうち最も高いもの
- 外国語で『英語』を選択した場合は、筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
 ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

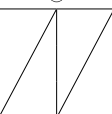
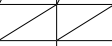
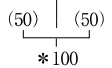
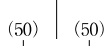
- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
 なお、『 』内の記載を1科目と数えます。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」「英語表現Ⅰ」,
 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く経済・社会等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科③は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
- 4 前期日程の大学入試センター試験については、各教科に傾斜配点をした配点A～配点Cを計算し、最も高得点の配点型を利用します。
- 5 大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅹの11通りです。

大学入試センター試験の配点等												
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分		国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等
						①	②	①	②			
(昼間コース) 経済学科	Ⅰ 地歴、公民は選択せず、理科は(3)を選択した場合	前期日程	配点A	300		100	100	(50) (50)	100	200	900	理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、科目数不足となり、不合格となります。
			配点B	200		150	150			200		
			配点C	200		100	100	100		300		
		後期日程		200		100	100	(50) (50) 100	100	200	800	
	Ⅱ 地歴、公民は選択せず、理科は(4)を選択した場合	前期日程	配点A	300		100	100		100 100	200	900	
			配点B	200		150	150			200		
			配点C	200		100	100			300		
		後期日程		200		100	100		100 100	200	800	
	Ⅲ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(1)を選択した場合	前期日程	配点A	300	100	100	100	(50) (50)		200	900	
			配点B	200		150	150			200		
			配点C	200		100	100	100		300		
		後期日程		200	100	100	100	(50) (50) 100		200	800	
	Ⅳ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(2)を選択した場合	前期日程	配点A	300	100	100	100		100	200	900	
			配点B	200		150	150			200		
			配点C	200		100	100			300		
		後期日程		200	100	100	100		100	200	800	
	Ⅴ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(3)を選択した場合	前期日程	配点A	300	*100	100	100	(50) (50)	*100	200	900	*印を付したもののについては、高い順に2つの成績を用います。ただし、理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、地歴、公民の成績と、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。
			配点B	200		150	150			200		
			配点C	200		100	100	*100		300		
		後期日程		200	*100	100	100	(50) (50) *100	*100	200	800	
	Ⅵ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(4)を選択した場合	前期日程	配点A	300	*100	100	100		*100 *100	200	900	*印を付したもののについては、理科②の第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科②」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。
			配点B	200		150	150			200		
			配点C	200		100	100			300		
		後期日程		200	*100	100	100		*100 *100	200	800	
	Ⅶ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は選択しなかった場合	前期日程	配点A	300	100	100	100			200	900	
			配点B	200			150			200		
			配点C	200			100			300		
		後期日程		200	100	100	100			200	800	
	Ⅷ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(1)を選択した場合	前期日程	配点A	300	*100	*100	100	(50) (50)		200	900	*印を付したもののについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民」の第2解答科目、「理科①」のうち高い方の成績を用います。
			配点B	200			150			200		
			配点C	200			100	100		300		
		後期日程		200	*100	*100	100	(50) (50) *100		200	800	

※次ページに続く

大学入試センター試験の配点等															
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分		国語	地歴 公民		数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等		
							①	②	①	②					
(昼間コース) 経済学科	Ⅸ 地歴、公民 で指定した科目から2科目 選択し、理科 は(2)を選択した 場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100			*100		200	900	*印を付したのものについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。
			配点B	200			150	150					200		
			配点C	200			100	100					300		
		後期日程	200	*100	*100	100	100			*100		200	800		
	X 地歴、公民 で指定した科目から2科目 選択し、理科 は(3)を選択した 場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100		(50) (50) *100	*100		200	900	*印を付したのものについては、「地歴、公民の第1解答科目と理科①の成績」、「地歴、公民の第1解答科目と理科②の成績」、「地歴、公民の2科目の成績」、「理科①と理科②の成績」のうち高い方の成績を用います。ただし、理科(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。
			配点B	200			150	150					200		
			配点C	200			100	100					300		
		後期日程	200	*100	*100	100	100		(50) (50) *100	*100		200	800		
	XI 地歴、公民 で指定した科目から2科目 選択し、理科 は(4)を選択した 場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100			*100 *100		200	900	*印を付したのものについては、「地歴、公民の第1解答科目と理科②の第1解答科目の成績」、「地歴、公民の2科目の成績」、「理科②の2科目の成績」のうち高い方の成績を用います。
			配点B	200			150	150					200		
			配点C	200			100	100					300		
		後期日程	200	*100	*100	100	100			*100 *100		200	800		

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等				
学科等名	学力検査等の区分	外国語	小論文	配点 合計
(昼間コース) 経済学科	前期日程	200		200
	後期日程		300	300

【医 学 部】（医学科）

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
医学科	前期日程	国	『国語』 必須	数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ』 必須	約5倍
		地歴 公民	（『世Ⅰ』、『世Ⅱ』、『地理Ⅰ』） （『現社Ⅰ』、『倫Ⅰ』、『政経Ⅰ』、『倫Ⅰ・政経Ⅰ』）	理	（『物基Ⅰ・物Ⅰ』、『化基Ⅰ・化Ⅰ』） （『生基Ⅰ・生Ⅰ』）	
		数	『数Ⅰ・数Ⅱ』 必須 （『数Ⅲ・数Ⅳ』、『簿Ⅰ・会Ⅰ』、『情報Ⅰ』）	外	『英語』 必須 〔3教科4科目〕	
	後期日程	理	（『物Ⅰ』、『化Ⅰ』、『生Ⅰ』） から2科目	その他	面接	約12倍
		外	（『英Ⅰ』、『独Ⅰ』、『仏Ⅰ』、『中Ⅰ』、『韓Ⅰ』） から1科目 〔5教科7科目〕	その他	小論文 面接	

（注）【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ』・・・1科目、『簿Ⅰ・会Ⅰ』・・・1科目）
- 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、注意してください。
- 『簿記Ⅰ・会Ⅰ』、『情報関係基礎Ⅰ』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ』・・・1科目、『物基Ⅰ・物Ⅰ』・・・1科目）
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数Ⅲ」, 「数Ⅳ」, 「数Ⅴ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
「数Ⅳ」は（場合の数と確率）, （図形の性質）を, 「数Ⅴ」は（数列）, （ベクトル）を出題範囲とします。
ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科 『物基Ⅰ・物Ⅰ』は、「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基Ⅰ・化Ⅰ』は、「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基Ⅰ・生Ⅰ』は、「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 出題は、英語による問題（小論文Ⅰ）と日本語による理科系の論述式問題（小論文Ⅱ）とします。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 《前期日程》外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
《後期日程》外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「240点」、リスニング「60点」の計「300点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「300点」とします。

大学入試センター試験の配点等													
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴 公民	数学		理科			外国語	配点 合計	成績の利用方法等	
					①	②	①	②					
医学科		前期日程	200	100 (1科目)	100	100			100	100	200	900	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
		後期日程	200	100 (1科目)	150	150			150	150	300	1200	

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等							
学科等名	学力検査等の区分	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
医学科	前期日程	200	200	200		100	700
	後期日程				200	100	300

【医 学 部】（看護学科）

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	
看護学科	前期日程	国	『国語』	必須	その他	面接	
		地歴	(「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」)	から1科目			
		公民	(「現社」, 「倫」, 「政経」, 『倫・政経』)				
		理	(1) (「物基」, 「化基」, 「生基」) から2科目 (2) (「物」, 「化」, 「生」) から1科目				(1), (2)のいずれか
		数	(『数Ⅰ・数A』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目				
		外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目				
			〔5教科5科目(理科で(1)を選択する場合は5教科6科目)〕				

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数I・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 理科について基礎を付さない科目を2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、(2)を選択することができませんので、注意してください。
また、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 基礎を付した科目（2科目の合計）	}	ア又はイのうち高得点の科目（アを用いる場合は2科目）
イ. 基礎を付さない科目		
- 数学について指定した科目から2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
- 3 理科①は、1科目「75点」で、2科目合わせて「150点」の配点となります。

大学入試センター試験の配点等											
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等
					①	②	①	②			
看護学科	I 理科で①を選択した場合	前期日程	200	100 (1科目)	150 (1科目)	(75) (75) 150			200	800	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。数学で指定した科目から2科目受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。
	II 理科で②を選択した場合		200	100 (1科目)	150 (1科目)	150 (1科目)		200	800	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。数学で指定した科目から2科目受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。理科②で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。	

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等							
学科等名	学力検査等の区分	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
看護学科	前期日程					200	200

【医 学 部】（臨床心理学科）

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
臨床心理学科	前期日程	国	『国語』	国	『国語』	約6倍
		地歴	（『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』）から1又は2科目	数	（『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』）から1教科	
		公民	（『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』）から1科目	外	『英語』	
		理	（1）（『物基』、『化基』、『生基』）から2科目 （2）（『物』、『化』、『生』）から1科目 （3）（『物基』、『化基』、『生基』）から2科目並びに（『物』、『化』、『生』）から1科目 （4）（『物』、『化』、『生』）から2科目	その他	面接	
		数	『数Ⅰ・数A』			
		外	（『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』）			

（注）【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目）
 - 地歴及び公民については、『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』から1又は2科目、『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』から1科目までの成績を用います。
 - 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。（右表「大学入試センター試験の配点等」参照）
 - 地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)又は(4)を選択してください。なお、理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 - 地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)～(4)のいずれかを選択してください。
 - 地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の第1解答科目 イ. 地歴、公民の第2解答科目 ウ. 理科の基礎を付した科目（2科目の合計） エ. 理科の基礎を付さない科目	・・・1科目 - イ～エのうち高得点順に2科目（ウを用いる場合は3科目）	3科目（ウを用いる場合は4科目）
---	---	--
- ただし、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、ア、イの2科目の成績と、ウ、エのうち高い方の成績を用います。
また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
 - 外国語で『英語』を選択した場合は、筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

- 『国語』 「国語総合」、『現代文B』、『古典B』の3科目を合わせた範囲から出題します。
- 数学 「数Ⅰ」、『数Ⅱ』、『数A』、『数B』の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」、『数Ⅱ』、『数Ⅲ』、『数A』、『数B』の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数A」は（場合の数と確率）、（図形の性質）を、「数B」は（数列）、（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」、『コミュニケーション英語Ⅱ』、『コミュニケーション英語Ⅲ』、『英語表現Ⅰ』、『英語表現Ⅱ』の5科目を合わせた範囲から出題します。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
- 4 大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは次のⅠ～Ⅵの6通りです。

大学入試センター試験の配点等												
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点合計	成績の利用方法等
						①	②	①	②			
臨床心理 学科	I 地歴、公民 で指定した科目から1科目 選択し、理科 は(3)を選択した 場合	前期日程	200	100		100	100	(50) (50) 100	100	200	900	
	II 地歴、公民 で指定した科目から1科目 選択し、理科 は(4)を選択した 場合		200	100		100	100	/ /	100 100	200	900	
	III 地歴、公民 で指定した科目から2科目 選択し、理科 は(1)を選択した 場合		200	100 100 200	/	100	100	(50) (50) 100	/	200	900	
	IV 地歴、公民 で指定した科目から2科目 選択し、理科 は(2)を選択した 場合		200	100 100 200	/	100	100	/ /	100	200	900	
	V 地歴、公民 で指定した科目から2科目 選択し、理科 は(3)を選択した 場合		200	*100 *100	100	100	(50) (50) *100	*100	200	900	*印を付したもののについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科①」、「理科②」のうち高い順に2つの成績を用います。 理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合に、*を付したもののについては、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。	
				*200								
				100 100								
				200								
	VI 地歴、公民 で指定した科目から2科目 選択し、理科 は(4)を選択した 場合		200	*100 *100 *200	/	100	100	/ /	*100 *100	200	900	*印を付したもののについては、「地歴、公民」、「理科」の各第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等					
学科等名	学力検査等の区分	国語又は数学	外国語	面接	配点合計
臨床心理学科	前期日程	200	200	100	500

【創造工学部】

学科等名		学力検査等の区分		大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等			2段階選抜					
				教科	科目名等		教科等	科目名等							
創造工学科	全コース	Aタイプ	国	『国語』	必須	数 理	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 『(物基・物)、『化基・化』 から1科目 から1科目 〔1教科1科目〕	から1科目 から1科目							
			地歴	(『世A』,『世B』,『日A』,『日B』,『地理A』,『地理B』)	から1科目										
			公民	(『現社』,『倫』,『政経』,『倫・政経』)	から1科目										
			数	(『数Ⅰ』,『数Ⅰ・数A』)	から1科目										
				(『数Ⅱ』,『数Ⅱ・数B』,『情報』)	から1科目										
			理	『物』	必須										
				(『化』,『生』,『地学』)	から1科目										
			外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目										
				〔5教科7科目〕											
			前期日程 造形・メディアデザインコース 防災・危機管理コース	Bタイプ	国					『国語』	必須	数 理 その他	〈造形・メディアデザインコース〉 『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 『(物基・物)、『化基・化』 から1科目 から1科目 総合問題 〔1教科1科目〕	から1科目 から1科目	
	地歴	(『世A』,『世B』,『日A』,『日B』,『地理A』,『地理B』)			から1科目										
	公民	(『現社』,『倫』,『政経』,『倫・政経』)			から1科目										
	数	(『数Ⅰ』,『数Ⅰ・数A』)			から1科目										
		(『数Ⅱ』,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』)			から1科目										
	理	(『物基』,『化基』,『生基』,『地学基』)から2科目又は (『物』,『化』,『生』,『地学』) から1科目													
	外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)			から1科目										
		〔5教科6科目(理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科7科目)〕													
	全コース	後期日程			国	『国語』	必須	その他	小論文						
					地歴	(『世A』,『世B』,『日A』,『日B』,『地理A』,『地理B』)	から1科目								
			公民	(『現社』,『倫』,『政経』,『倫・政経』)	から1科目										
			数	(『数Ⅰ』,『数Ⅰ・数A』)	から1科目										
				(『数Ⅱ』,『数Ⅱ・数B』,『情報』)	から1科目										
		理	(『物』,『化』,『生』,『地学』)	から2科目											
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目											
			〔5教科7科目〕												

（注）【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目）
- 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 理科について、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
ア. 基礎を付した科目（2科目の合計）
イ. 基礎を付さない科目
ア又はイのうち高得点の科目（アを用いる場合は2科目）
また、Bタイプの試験においては、理科で指定した科目から基礎を付さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・1科目, 『物基・物』・・・1科目）
- 数学
Aタイプの試験においては、「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」、「数B」の5科目を合わせた範囲から出題します。
Bタイプの試験においては、「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数A」、「数B」の4科目を合わせた範囲から出題します。
なお、いずれのタイプの試験においても、「数A」は（場合の数と確率）、（図形の性質）を、「数B」は（数列）、（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科
『物基・物』は、「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は、「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地学基・地学』は、「地学基礎」と「地学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
- 総合問題
総合問題は、本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力、創造的態度及び表現力等を評価します。
素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。
- 小論文
小論文は、本学部学生に求められる素質や能力としての読解力、論理的思考力及び表現力等を評価します。
特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。

大学入試センター試験の配点等													
学科等名		選択パターン	学力検査等の区分		国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の 利用方法等
							①	②	①	②			
創造工学科	全コース		前期 日程	A タイプ	200	100 (1科目)	100	100			200	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
	造形・メディア デザインコース	理科で基礎を付した科目から2科目を選択した場合		B タイプ	200	100 (1科目)	100	100	(50)	(50)	200	800	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
	防災・危機管理 コース	理科で基礎を付さない科目から2科目を選択した場合			200	100 (1科目)	100	100			200	800	理科②で基礎を伏さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
	全コース		後期日程		200	100 (1科目)	100	100			200	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査等の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等										
学科等名		学力検査等の 区分		数学	理科			総合 問題	小論文	配点 合計
					物理	化学	地学			
創造工学科	全コース	前期日程	Aタイプ	*200	*200	*200				200
	造形・メディアデザインコース		Bタイプ	*200	*200	*200		*200		200
	防災・危機管理コース			*200	*200	*200	*200			200
	全コース	後期日程							100	100

【農 学 部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
応用生物科学科	前期日程	国	『国語』	数 理	(『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) (『物基・物』,『化基・化』,『生基・生』から1科目) 〔1教科1科目〕	
		地歴	(『世A』,『世B』,『日A』,『日B』,『地理A』,『地理B』)			
		公民	(『現社』,『倫』,『政経』,『倫・政経』)			
		数	(『数Ⅰ』,『数Ⅰ・数A』)			
			(『数Ⅱ』,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』)			
		理	(『物』,『化』,『生』,『地学』)			
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)			
			〔5教科7科目〕			

(注)【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目,『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』,『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目,『物基・物』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数A」,「数B」の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数Ⅲ」,「数A」,「数B」の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数A」は(場合の数と確率),(図形の性質)を,「数B」は(数列),(ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学,あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科 『物基・物』は,「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は,「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は,「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。

大学入試センター試験の配点等												
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴 公民	数学		理科			外国語	配点 合計	成績の利用方法等
					①	②	①	②	③			
応用生物科学科		前期日程	200	100 (1科目)	100	100			100 100	200	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査等の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等					
学科等名	学力検査等の区分	数学	理科	面接	配点 合計
応用生物科学科	前期日程	*200	*200		200

〔４〕 実技検査（教育学部学校教育教員養成課程（前期日程）のみ）

幼児教育コース，小学校教育コースで実技検査を受験する者及び中学校教育コースでC系を受験する者	
音 楽	実技検査（音楽）を受験する者は，下記の検査項目のうち（１）は必ず受験し，それに加えて（２）から（４）のうちいずれか１つを選択し，合わせて計２項目を受験してください。 （１） ピアノ：モーツァルト，ベートーヴェンのソナタの中より，第１楽章又は終楽章から任意の１楽章を演奏する（ただし，緩徐楽章を除く。）。 （２） 新曲視唱及び旋律聴音 （３） 歌曲：以下の６曲（ア～カ）の中から任意の１曲を選び，原語で演奏する。 ア. Caro mio ben Giordani. G . . . Es dur イ. Caro mio ben Giordani. G . . . Des dur ウ. Caro mio ben Giordani. G . . . 上記以外の調 エ. 浜辺の歌（１，２番を歌唱） 成田 為三 . . . As dur オ. 浜辺の歌（１，２番を歌唱） 成田 為三 . . . F dur カ. 浜辺の歌（１，２番を歌唱） 成田 為三 . . . 上記以外の調 <u>なお，ウ・カを希望する者は，移調楽譜１部（伴奏譜を含む。）を入学願書に添えて提出してください。</u> （４） 管弦打楽器：任意の１曲を無伴奏で演奏する。 備考 １．演奏は，すべて暗譜によるものとし，繰り返しは省略してください。 ２．管弦打楽器は，各自持参してください。
美 術	実技検査（美術）を受験する者は，下記の検査項目を受験してください。 （１） 文章又は図で示された幾何形体を鉛筆で表示する。 （２） 静物を鉛筆でデッサンする。 備考 検査に必要な用具は各自持参してください（画板，用紙は用意します。）。
保健体育	実技検査（保健体育）を受験する者は，下記（１），（２）を受験してください。 （１） 一般運動能力テスト （ジグザグ走，シャトルスタミナテスト，立ち５段跳び，長座メディシンボール投げ） （２） 次のの中から１種目選択 １．陸上競技 ２．器械運動 ３．ダンス ４．柔道 ５．剣道 ６．水泳 ７．バスケットボール ８．バレーボール ９．サッカー １０．ハンドボール １１．バドミントン １２．卓球 １３．硬式野球 １４．ソフトボール １５．硬式テニス １６．ソフトテニス 備考 １．十分に運動のできる服装を用意してください。 ２．一般運動能力テストは体育館で行います。体育館シューズを持参してください。 ３．スパイク使用種目については，その使用を認めます。 ４．用具は，大学で用意します（受験者の持参も可）。 ５．水泳は，屋内温水プールで行います。 ６．受験者数等の都合で，実技検査は時刻までかかる場合があります。

〔5〕 小論文

実施学部名	小論文の概要
教育学部	小論文は、大学生の資質として求められる論述の能力を評価します。すなわち、単なる感想ではなく、与えられた素材に基づき構成される客観的な事象について、所定の条件のもとに自らの論旨を定めて論述することを要求するものです。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選ばれます。 なお、評価に際しては、理解力、着想力、思考力及び文章表現上の諸能力などを総合的に評価します。
法学部	小論文の目的は、受験者の読解力、文章表現力及び論理的思考力を評価するとともに、学校教育法で定められている高等学校教育の目標である「社会について、広く深い理解と健全な批判力」を身につけているかどうかを判定することにあります。 素材は、特定の教科にかたよらず、広く社会・政治・法律・人文等の分野から選ばれます。
経済学部	小論文の目的は、受験者の読解力、文章表現力及び論理的思考力を評価するものです。評価の観点には、資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。 素材は、特定の教科にかたよらず、広く経済・社会等の分野から選ばれます。
医学部	小論文は、単なる作文力のテストではなく、大学入試センター試験ではみることができない論理的思考力、倫理観、社会性等をみるために行います。 小論文の出題は、英語による問題（小論文Ⅰ）と日本語による理科系の論述式問題（小論文Ⅱ）とします。
創造工学部	小論文は、本学部学生に求められる素質や能力としての読解力、論理的思考力及び表現力等を評価するための論述式問題です。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

〔6〕 総合問題

実施学部名	総合問題の概要
創造工学部	総合問題は、本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力、創造的態度及び表現力等を評価します。 素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

〔7〕 面接

実施学部名	面接の概要
医学部	医学科における面接は、医師及び医学研究者としての適性をみるために行います。 地域医療推進枠 「地域医療推進枠」の大学入試センター試験の教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等については、一般入試（前期日程）と同じです。それに加え、香川県による面接があります（募集については調整中です）。
	看護学科における面接は、将来、看護・医療に従事する者としての適性をみるために行います。
	臨床心理学科における面接は、心理援助者としての適性をみるために行います。

4. 個別学力検査等の日時及び場所

〔1〕個別学力検査等の日時

(前期日程)

月 日		2月25日(火)				2月26日(水)
学部等		教科等		国語・数学	理科・外国語	
教育学部	時 間			9:00~10:30	11:20~12:50	
	教科等			実技 (音楽・美術・保健体育)		
	時 間			9:00~		
法学部	教科等			数 学	外国語	
	時 間			9:00~10:30	11:20~12:50	
経済学部	教科等				外国語	
	時 間				11:20~12:50	
医学部	医学科	教科等		数 学	外国語	※理科
		時 間		8:30~10:00	10:15~11:45	12:35~15:35
	看護学科	教科等		面 接		※面 接
		時 間		9:00~		9:00~
臨床心理学科	教科等			国語・数学	外国語	※面 接
	時 間			8:30~10:00	10:15~11:45	12:45~
						9:00~
創造工学部	教科等			数 学	理 科・総合問題	
	時 間			9:00~10:30	11:20~12:50	
農学部	教科等			数 学	理 科	
	時 間			9:00~10:30	11:20~12:50	

(後期日程)

月 日		3月12日(木)				3月13日(金)
学部等		教科等		小論文		
教育学部	時 間			10:00~12:00		
	教科等			小論文		
法学部	時 間			10:00~12:00		
	教科等			小論文		
経済学部	時 間			10:00~12:00		
	教科等			小論文		
医学部	医学科	教科等		小論文Ⅰ	小論文Ⅱ	※面 接
		時 間		9:00~10:15	10:30~11:45	13:00~
創造工学部	教科等			小論文		※面 接
	時 間			10:00~11:30		9:00~

※ 医学部医学科の理科は、出願時に選択した2科目を3時間で解答します。

※ 医学部医学科の小論文Ⅰと小論文Ⅱの間は、休憩時間ではありません。

※ 医学部医学科の面接は、受験者を割り振り、次のとおり通知します。

なお、面接に関する個別の問い合わせには応じません。

・前期日程…第1段階選抜結果発表後に、本学ホームページ上で公表します。

・後期日程…試験当日、小論文試験終了時までに所定の掲示板に掲示します。

※ 医学部臨床心理学科の面接は、第1段階選抜結果発表後に、受験者の割り振りを本学ホームページ上で公表します。

※ 医学部臨床心理学科の面接は、受験者数によっては2月26日にも実施します。なお、該当者についてはあらかじめ通知します。

なお、面接に関する個別の問い合わせには応じません。

《集合時間》

各自、最初に受験する教科の試験開始時刻30分前までに検査場に集合してください(【医学部医学科】、【医学部臨床心理学科】以外)。

【医学部 医学科・臨床心理学科】 前期日程(第1日目) 全受験者 午前8時20分までに 集合

【医学部 医学科】 後期日程(第1日目) 全受験者 午前8時50分までに 集合

〔2〕個別学力検査等の場所

(1) 個別学力検査等実施会場

個別学力検査等は下記の検査場で実施します。各検査場については、巻末の検査場案内図を参照してください。

なお、前期日程では、学外検査場（関西地区検査場）を設置します。学外検査場を設置する学部は、下記のとおりです。試験は、香川大学検査場と同じ日時で実施します。後期日程については、学外検査場は設けず、全て香川大学で試験を実施しますので、注意してください。

志望学部	検査等実施会場	
	香川大学検査場 【前期日程・後期日程】	関西地区検査場 【前期日程のみ】
教育学部	教育学部（幸町北キャンパス） 高松市幸町1番1号	
法学部	法学部（幸町南キャンパス） 高松市幸町2番1号	
経済学部	経済学部（幸町南キャンパス） 高松市幸町2番1号	
医学部	医学部（三木町医学部キャンパス） 木田郡三木町大字池戸1750番地1	
創造工学部	創造工学部（林町キャンパス） 高松市林町2217番地20	大手前大学（さくら夙川キャンパス） 兵庫県西宮市御茶家所町6-42
農学部	農学部（三木町農学部キャンパス） 木田郡三木町大字池戸2393番地	

※ 検査場へ自動車での入構はできません。

※ 関西地区検査場となっている大手前大学への問い合わせは、一切しないでください。

(2) 関西地区検査場について

ア 受験申込

関西地区検査場での受験を希望する者は、出願登録時に「検査場」欄で「関西地区検査場」を選択してください。

なお、出願書類提出後の「検査場」欄の訂正には、一切応じません。

イ 定員

関西地区検査場での受験希望者が施設の収容能力を超える場合は先着順とし、施設の収容能力を超えた受験者は香川大学検査場での受験となります。

ウ 検査場の通知

出願書類を受理した後、検査場を決定します。受験票をダウンロードして印刷した際に、各自で受験票の「検査場」欄を見て確認してください。

決定された検査場の変更はできません。また、別検査場での受験は、いかなる理由があっても認めません。

エ その他

関西地区検査場には駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用してください。

また、関西地区検査場での受験に係る宿泊、交通について、本学では斡旋、案内等はいりません。

〔3〕受験上の注意事項

(1) 受験票

試験当日は、各自でダウンロードのうえ印刷した「受験票」と「大学入試センター試験受験票(写真を貼付の上、シールを貼ってあるもの)」の両方を必ず持参してください。

なお、「受験票」は、入学試験個人成績等開示申請の際に必要ですので、大切に保管しておいてください。

また、「大学入試センター試験受験票」は、入学手続の際にも必要ですので、大切に保管しておいてください。

(2) 受験心得

ア 指定された検査場（キャンパス）以外での受験は認めませんので、検査場（キャンパス）を間違えないよう注意してください。

イ 各時限とも15分以上遅刻した場合は受験できませんので、選択した教科・科目の検査時間をよく確認しておいてください。

ただし、医学部における外国語、理科、面接については、遅刻を認めません。

ウ 机の上には、筆記用具、消しゴム、鉛筆削り（小型で手動のもの）、時計（計時機能だけのもの）、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬以外の携行品を置いてはいけません。

ただし、数学・理科の場合は、定規（三角定規を含む。）を使用してもかまいません。総合問題の場合は、色鉛筆を使用してもかまいません。

エ 携帯電話、スマートフォン等音の出る機器を所持している場合は、電源を切っておいてください。

オ 不正行為のあった場合は、直ちに退場してもらいます。

カ 個別学力検査等についての詳細は、検査場に掲示します。

(3) 試験当日における車送迎等の自粛について

試験当日は乗用車等の構内への乗り入れができませんので、公共交通機関（又は自転車）を利用してください。

例年、自家用車で受験者送迎により、検査場周辺道路が広範囲にわたって渋滞し、試験実施に支障が生じかねない状況となっています。また、近隣店舗等からも、店舗駐車場への長時間駐車等に関する苦情が寄せられています。公道上はもちろんのこと、近隣店舗や住民等の迷惑となる駐車等は決して行わないでください。

(4) 入試合否連絡等の詐欺について

試験当日に、香川大学検査場や最寄り駅周辺において、本学職員を装い、「試験の合否を知らせる。」などと言葉巧みに近寄り、アンケートや住所・氏名・電話番号などの個人情報を書かせたり、現金を要求する者がいます。本学職員がそのような行為をすることは一切ありませんので注意してください。

(5) 麻しん（はしか）の予防接種について

受験者で、麻しんワクチンの接種をしていない場合は、医療機関でのワクチン接種をお勧めします。

5. 合格者発表

〔1〕 第1段階選抜合格者の発表（医学部 医学科、臨床心理学科）

「前期日程及び後期日程の第1段階選抜」2020年2月12日（水）午前9時（予定）

本学ホームページ上においても、発表内容を掲載します（同日午前10時予定）。

〔実施する場合〕

上記日時に幸町北キャンパス（高松市幸町1番1号）及び医学部内に合格者の受験番号を掲示します。

〔実施しない場合〕

上記日時に幸町北キャンパス（高松市幸町1番1号）及び医学部内に「実施しない」旨の掲示をします。

〔2〕 合格者の発表

合格者の発表は、下記の日時に幸町北キャンパス（高松市幸町1番1号）内の掲示板で行うとともに、本人には合格通知書（入学手続に要する書類を含みます。）を送付します。

さらに、医学部、創造工学部及び農学部については、各学部内の掲示板でも当該学部の合格者発表を行います。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

「前期日程」2020年3月6日（金）午前9時（予定）

「後期日程」2020年3月22日（日）午前9時（予定）

本学のホームページ上においても、合格者受験番号を掲載します（同日午前10時予定）。

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

（注）ホームページ掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者発表は香川大学幸町キャンパス等掲示板、合格通知書にて行います。

6. 入学手続

合格者は、入学手続期限までに入学手続を完了してください。

入学手続書類は、「簡易書留・速達郵便」とし、入学手続期限（必着）までに教育・学生支援室学務グループへ郵送してください。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

なお、入学手続に関する詳細は、合格通知書送付時に通知します。

また、一つの国公立大学・学部に入入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入入学手続を行うことはできません。

〔1〕 入学手続期限

「前期日程」

2020年3月15日（日）17時まで（必着）

「後期日程」

2020年3月27日（金）17時まで（必着）

〔2〕 入学手続に必要なもの

- ① 本学所定の誓約書 1部

② 大学入試センター試験受験票

③ 学部ごとに必要な書類

④ 納付金

入学料		282,000円 (予定)
授業料	(前期分)	267,900円 (予定)
	(年 額)	535,800円 (予定)

なお、入学時及び在学中に納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

(注) 1. 前期分の授業料については、2020年4月1日から2020年5月31日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

2. 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 入学手続きを行わなかった場合

② 入学料を誤って二重に納入した場合

③ 高等教育の修学支援新制度の入学料・授業料の減免対象者が減免額を誤って納入した場合。

3. 入学料・授業料の納付が困難な学生のために、免除や徴収猶予の制度があります。

入学手続き書類送付から手続までの期間が短いため、申請希望者は香川大学ホームページ (<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuition-info/16198/>) で事前に必要書類をご確認ください。

※なお、2020年4月から、国の高等教育の修学支援新制度が始まります。そのため、2020年4月入学者を対象とした入学料・授業料の減免に関する制度については、現行の制度から変更される予定です。制度の詳細は決まり次第本学ホームページでお知らせします。

4. 入学手続きを完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに入学辞退の手続きを行ってください。所定の入学辞退の手続きを行わない場合は、2020年4月1日付けで入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

〔3〕入学手続き書類送付先

〒760-8521

高松市幸町1番1号

香川大学教育・学生支援室学務グループ

7. 追加合格について

合格者の辞退などにより入学定員に欠員が生じた場合は、追加して合格者を決定することがあります。

この場合、追加合格候補者に該当する受験者へ2020年3月28日（土）から3月31日（火）までの間（8時から17時まで）に、電話により、入学願書に記載の「連絡先」に行いますので、本人が不在の場合でも連絡が直ちにとれるようにしておいてください。

なお、追加合格者の入学手続等については、追加合格を決定した時点で指示します。

(注) 1. 本学からの連絡の際、追加合格候補者が不在等のために、本人との連絡・確認ができなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。

2. 追加合格候補者は、発表しません。また、電話等による問い合わせには応じません。

8. 追加合格の情報等について

追加合格の情報等については、以下の本学ホームページでご確認ください。

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>
期間 2020年3月28日（土）から3月31日（火）

9. 欠員補充第2次募集について

追加合格だけでは欠員補充ができないと予測される場合には、2020年3月28日（土）以降に欠員補充第2次募集を行います。欠員補充第2次募集を実施する場合は、報道機関（新聞等）を通じて発表するとともに本学ホームページで情報を提供します。

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

※ 注意事項 欠員補充第2次募集の出願後、他の国公立大学へ入学手続きを行った場合は、受験しても入学許可は得られません。

10. 入試情報の開示について

〔1〕 入学者選抜試験における個人成績等の開示

(1) 開示内容

試験成績の開示を希望する一般入試の受験者には、本人の申請により、総合点、大学入試センター試験と個別学力検査等の科目ごとの得点（合否判定時に採用された科目の得点）及び総合順位を通知します。その際には、受験した学部・学科等における合格者の総合点の最高点、最低点及び平均点についても併せて通知します。なお、総合順位と学部・学科等における合格者の総合点の最高点、最低点及び平均点については、教育学部、法学部、経済学部、創造工学部、農学部にあつては学部別に、医学部にあつては学科別に開示します。

ただし、合格者が10人に満たない学部・学科等の受験者には、総合点、大学入試センター試験及び個別学力検査等の科目ごとの得点（合否判定時に採用された科目の得点）のみを通知します。

2020年度入学者選抜試験の成績の開示を希望する者は、下記のとおり申請してください。

(2) 申請方法

下記①～③の書類を同封し、郵送（簡易書留）にて申請してください。郵送以外での申請は認められませんのでご注意ください。

① 本学所定の「入学試験個人成績等開示申請書」

申請書の様式は、本学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/>）からダウンロードしてください。

② 本学の受験票及び大学入試センター試験受験票のうち、いずれか一つ（大学入試センター試験受験票は、コピー不可）

受験票を添付できない場合は、運転免許証等のコピーを添付してください。

なお、提出された受験票等は入学試験個人成績等通知時に返却します。

③ 返信用封筒（長形3号〈約12cm×23.5cm〉の封筒に、本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、414円分（定形50g以内の簡易書留料金分）の郵便切手を貼付したもの）

(3) 申請書受理期間

2020年4月10日（金）から2020年5月8日（金）まで（当日消印有効）

(4) 申請先

〒760-8521 高松市幸町1番1号 香川大学入試グループ TEL(087)832-1182

(5) 申請者に対する開示時期

2020年6月中旬ごろに郵送（簡易書留）にて本人に通知します。

(6) その他

開示に要する手数料は、無料です。ただし、郵送料は申請者の負担とします。

〔2〕 合格者の成績の公表

2020年度の各学部・学科等における一般入試の合格者の総合点、大学入試センター試験と個別学力検査の最高点、最低点及び平均点については、2020年6月に本学が発表する「2021年度入学者選抜要項」及び本学ホームページにより公表する予定です。なお、教育学部、法学部、経済学部、創造工学部、農学部にあつては学部別に、医学部にあつては学科別に開示します。

ただし、合格者が10人に満たない学部・学科等については公表しません。

〔3〕 入試問題及び解答例等の閲覧

本学広報室において、次のとおり、閲覧できます。

(1) 2020年度入試問題は、試験終了時刻以降に閲覧できます。なお、2019年度以前の入試問題については、常時、閲覧できます（コピー不可）。

(2) 2020年度入試問題の解答例等の閲覧は、2020年4月13日から2020年10月9日までの間に限ります。

(3) 閲覧時間は、9時から17時までです（土曜日、日曜日、祝日、本学の夏季一斉休業期間及び12月29日～1月3日を除く。）。

(4) 問い合わせ先：香川大学広報室 TEL(087)832-1027

(5) 情報提供の一環として、本学ホームページ上においても、入試問題を公表します（原則として過去1年分のみ）。なお、著作権許諾の関係により一部公表できない場合もあります。

○ 公表予定期間

2020年7月から約1年間（著作権許諾の関係で多少前後します。）

(<https://www.kagawa-u.ac.jp/>)

1 1. 障害を有する入学志願者等との事前相談について

障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に、相談してください。

特に、下表に相当する障害がある者については、申出がなかった場合、受験の際、障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は、お問い合わせください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	・慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とするもの (例) 発達障害（ADHD、高機能自閉症等）、パニック障害、頻尿

また、医学部に関しては、心身の障害の程度により、卒業後の資格試験（国家試験）に合格しても「医師」「看護師」等の免許が交付されないことがあります。

関係法令等は、医学部ホームページ (<https://www.med.kagawa-u.ac.jp/>) を参照してください。

〔1〕相談の方法

申請書（本学所定又は本学が必要とする内容が記されたもの、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

〔2〕問い合わせ先

香川大学入試グループ 〒760-8521 高松市幸町1番1号 TEL(087)832-1182

1 2. 出願資格審査について

本学における個別の入学資格審査により出願しようとする者は、事前審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。

出願資格審査の概要は以下のとおりです。

〔1〕 申請期限

2020年1月24日(金)まで(必着)

〔2〕 審査の時期

申請書受理後、随時行うものとします(審査期間として2週間程度を要します。)

〔3〕 申請書類

- ① 出願資格審査申請書(本学所定の様式)※
- ② 修了(卒業)証明書又は修了(卒業)見込証明書
- ③ 成績証明書又はこれに準ずるもの
- ④ 修業年限、カリキュラム等が記載された書類
- ⑤ 返信用封筒(長形3号の封筒に704円分(定形50g以内の簡易書留・速達料金分)の切手を貼り、申請者の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。)

※ 本学ホームページで入手できます。

(https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge/)

〔4〕 申請書の提出方法及び提出先

申請書類を郵送する場合は、必ず簡易書留・速達郵便とし、封筒表面に「出願資格審査申請書在中」と朱書してください。

提出先 〒760-8521 高松市幸町1番1号 香川大学入試グループ 宛
TEL (087) 832-1182

1 3. 個人情報の取扱いについて

- ① 出願書類に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別その他の個人情報)は、入学者選抜、合格通知及び入学手続を行うために利用します。また同個人情報は、合格者の入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、授業料及び教育研究活動の支援と本学の発展のための活動に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。
- ② 入学者選抜における個人成績は、入学者選抜の他、調査・研究(入試の改善や志願動向の調査・分析、各種統計資料作成)及び合格者の入学後の教務・学生支援関係業務にのみ使用し、本学の関係教職員以外への提供は行いません。また、調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。
- ③ 国公立大学の合格決定業務を円滑に行うため(追加合格決定業務を含む。)、合格者の情報(氏名及び入学手続状況)は、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ送達されます。
- ④ 提出された出願書類の個人情報を電算処理するため、当該電算処理に係る業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

1 4. その他

〔1〕 「地域医療推進枠」で入学した者に支給される香川県医学生修学資金の概要について(募集については調整中)

地域医療推進枠入学者に支給される修学資金等の概要は次のとおりです。

香川県医学生修学資金

貸与額 月額 120,000 円

貸与期間 6 年間

貸付申請（2020 年 4 月予定）の際には、連帯保証人（独立の生計を営み、修学資金の返還の義務を負担することができる成年者）2 人が必要となります。

修学資金返還の免除 大学を卒業し、香川県内の臨床研究病院で 2 年間の初期研修を修了し、引き続いて知事が指定する香川県内の公立病院等で 7 年間勤務した場合、貸与額が全額返還免除されます。

詳細は、香川県ホームページ (<https://www.pref.kagawa.lg.jp/>) から「香川県 医学生修学資金貸付」で検索。

問い合わせ先 香川県健康福祉部医務国保課 TEL (087) 832-3321

〔2〕ノート型パソコン必携について

（1）創造工学部

本学創造工学部は技術者に求められる先端的な情報教育を行います。そのために、授業でノート型パソコンを使用します。また、研究活動では学内ネットワークやインターネットを通じて、学内外との積極的な情報交流を行います。このため、入学生にノート型パソコンの購入を奨励しています。機種等の詳細については合格通知後にお知らせします。なお、特別のご事情がある場合は創造工学部学務係までご相談ください。

（2）農学部

本学農学部は高度情報化・ネットワーク社会で活躍する技術者・研究者に求められる情報処理教育を行います。授業や学生実験だけでなく、教員や学外との情報交換等、大学でのさまざまな活動にパソコンを使用します。このため、学生全員にノート型パソコンの購入を奨励しています。機種等の詳細については合格通知後にお知らせします。なお、特別のご事情がある場合は農学部学務係までご相談ください。

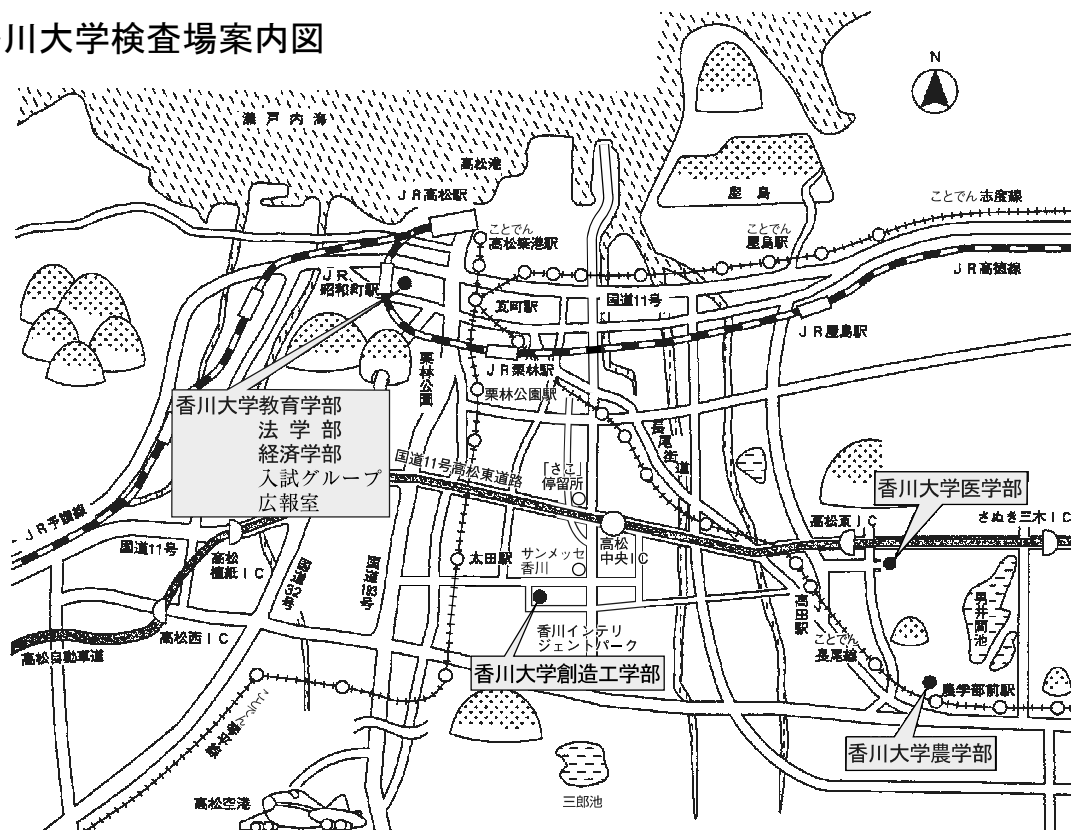
15. 一般入試に関する照会

一般入試に関する照会は、下記あてに行ってください。

香川大学入試グループ	〒760-8521 高松市幸町 1 番 1 号 TEL (087) 832-1182
香川大学教務課学務係（教育学部担当）	〒760-8523 高松市幸町 2 番 1 号 TEL (087) 832-1428
香川大学教務課学務第一係（法学部担当）	〒760-8523 高松市幸町 2 番 1 号 TEL (087) 832-1806
香川大学教務課学務第二係（経済学部担当）	〒760-8523 高松市幸町 2 番 1 号 TEL (087) 832-1813
香川大学医学部学務課大学院・入学試験係	〒761-0793 木田郡三木町大字池戸 1750 番地 1 TEL (087) 891-2074
香川大学創造工学部学務係	〒761-0396 高松市林町2217番地20 TEL (087) 864-2015
香川大学農学部学務係	〒761-0795 木田郡三木町大字池戸 2393 番地 TEL (087) 891-3015

IV 検査場案内図

1. 香川大学検査場案内図



教育学部・法学部・経済学部・入試グループ・広報室

J R	高徳線「高松駅」→「昭和町駅」下車 徒歩5分(東へ250m)
バス	J R 高松駅発(高松駅前①②番のりば) ことでんバス ⑪下笠居線・昭和町経由便 「高松駅」→「幸町」下車 徒歩2~3分(西へ150m) ことでんバス ⑬下笠居線・宮脇町経由便又は⑮香西線・宮脇町経由便 「高松駅」→「宮脇町」下車 徒歩2~3分(北へ150m) ことでんバス まちなかループバス ①東廻り ②西廻り 「高松駅」→「香川大学教育学部前」下車すぐ 「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ 高松空港発 空港連絡バス→「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車 徒歩10分~15分(西へ750m)
タクシー	J R 高松駅→香川大学 約10分 約800円

医学部

電車	ことでん長尾線「高松築港駅」→「高田駅」下車 バス5分 又は 徒歩25分(北東へ1.5km)
バス	J R 高松駅発(高松駅前⑦番のりば) ことでんバス ⑦高松医療センター・大学病院線 「高松駅」→「大学病院」下車 徒歩1分(北へ50m)
タクシー	J R 高松駅→香川大学医学部 約30分 約4,000円

創造工学部

電車	ことでん琴平線「高松築港駅」→「太田駅」下車 バス11分
バス	J R 高松駅発(高松駅前⑧番のりば) ことでんバス ⑥川島線・レインボー通り経由便 「高松駅」→「香川大学創造工学部前」下車 徒歩1分(南へ50m) ことでんバス ⑥川島線・サンメッセ香川経由便 「高松駅」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分(西へ500m)
高速バス	高速バス「高松中央インター南」下車 北西へ徒歩3分(200m) 又は ↓ 「高松中央インターバスターミナル」下車 西へ徒歩5分(380m) ことでんバス ⑥川島線・サンメッセ香川経由便 ⑥西植田線 「さこ」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分(500m) ※徒歩の場合、「高松中央インター南」から創造工学部まで約25分(約1.8km) 「高松中央インターバスターミナル」から創造工学部まで約30分(約2.0km)
タクシー	J R 高松駅→香川大学創造工学部 約30分 約3,500円

農学部

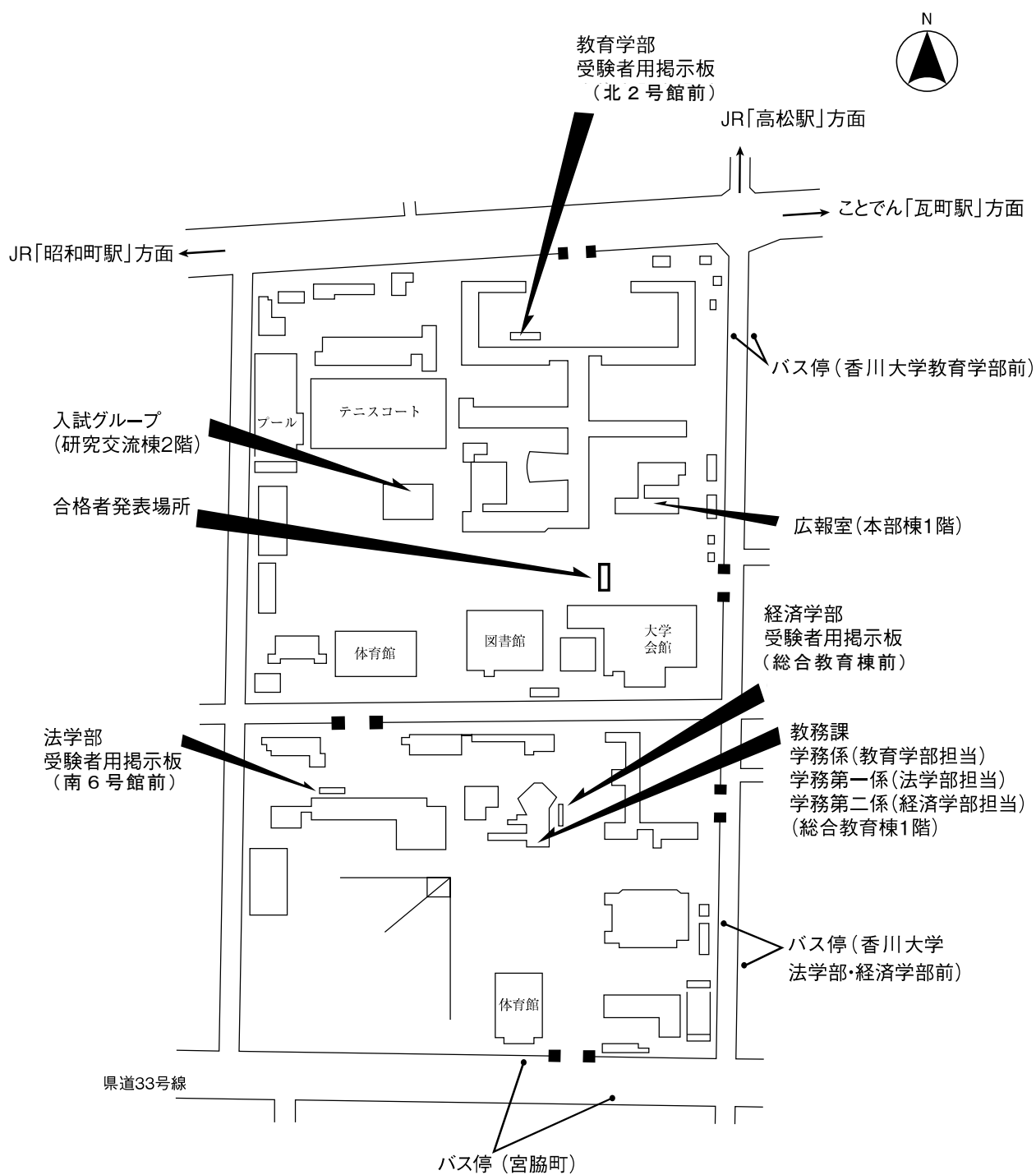
電車	ことでん長尾線「高松築港駅」→「農学部前駅」下車 徒歩2分(北へ100m)
バス	大川バス 引田線(高松駅前⑧番のりば)「高松駅」→「農学部前」下車 徒歩5分(北へ250m)
タクシー	J R 高松駅→香川大学農学部 約40分 約4,400円

(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自で確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

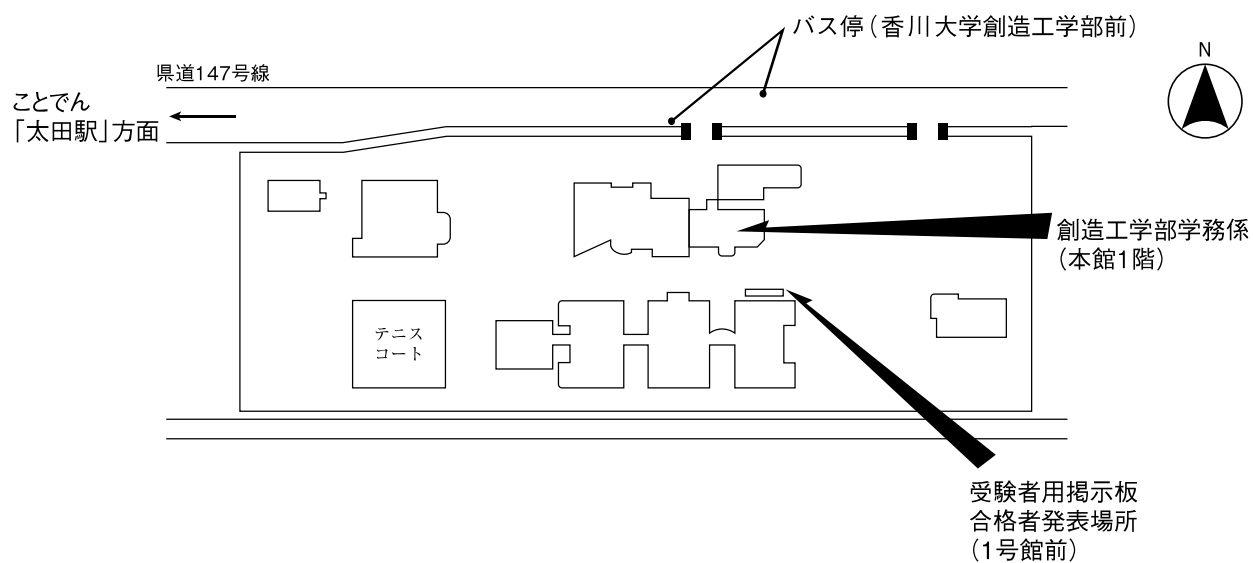
2. 香川大学建物配置図

幸町北キャンパス（教育学部）

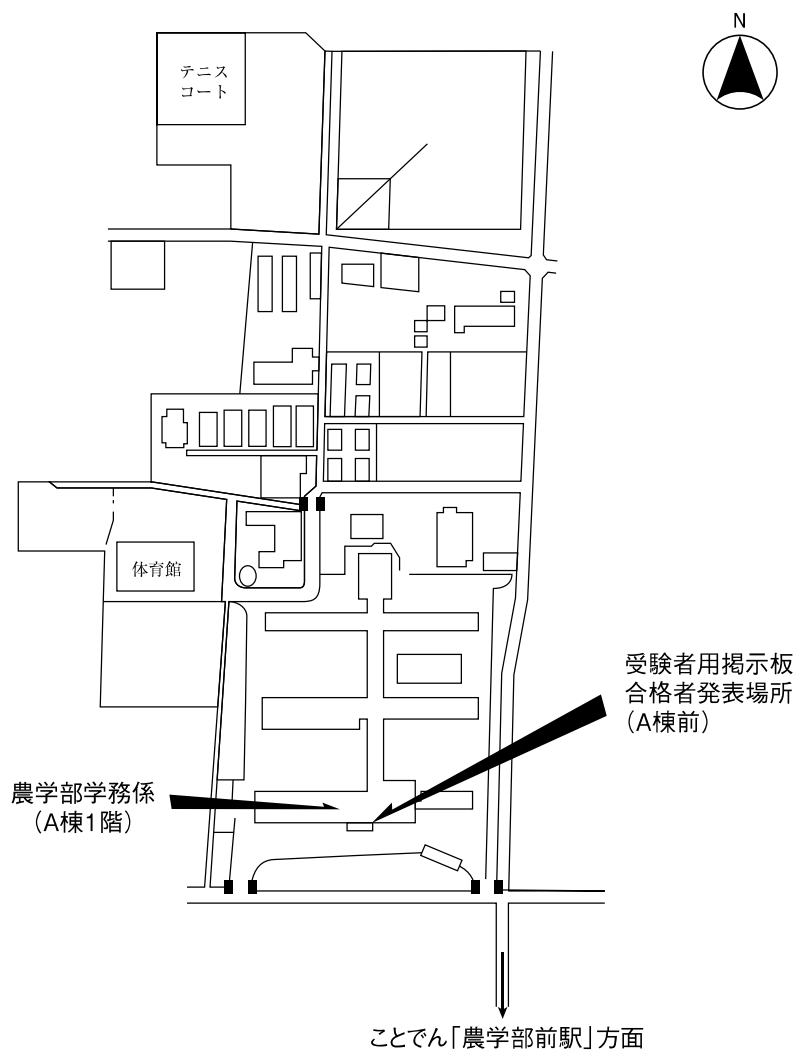
幸町南キャンパス（法学部・経済学部）



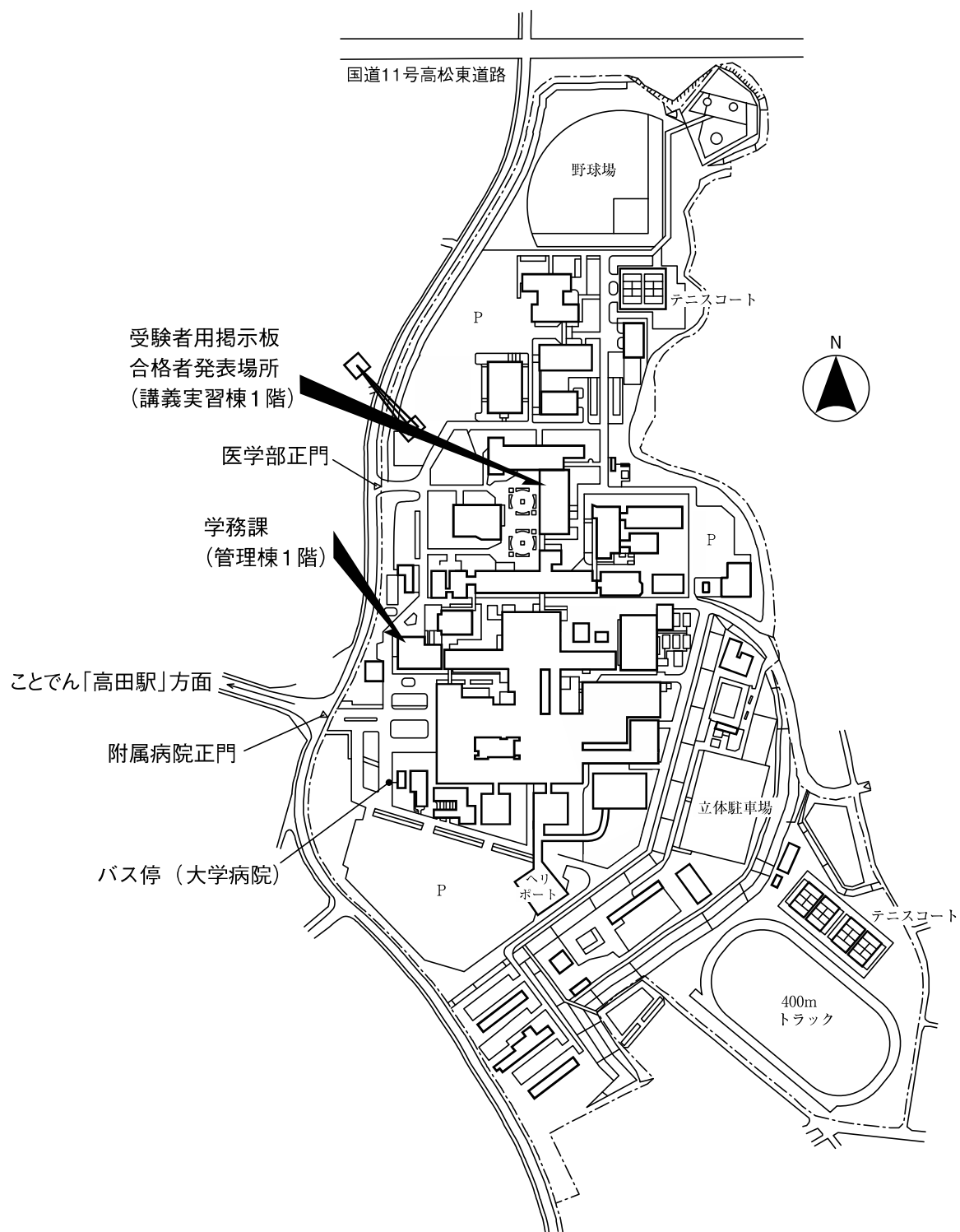
林町キャンパス（創造工学部）



三木町農学部キャンパス（農学部）



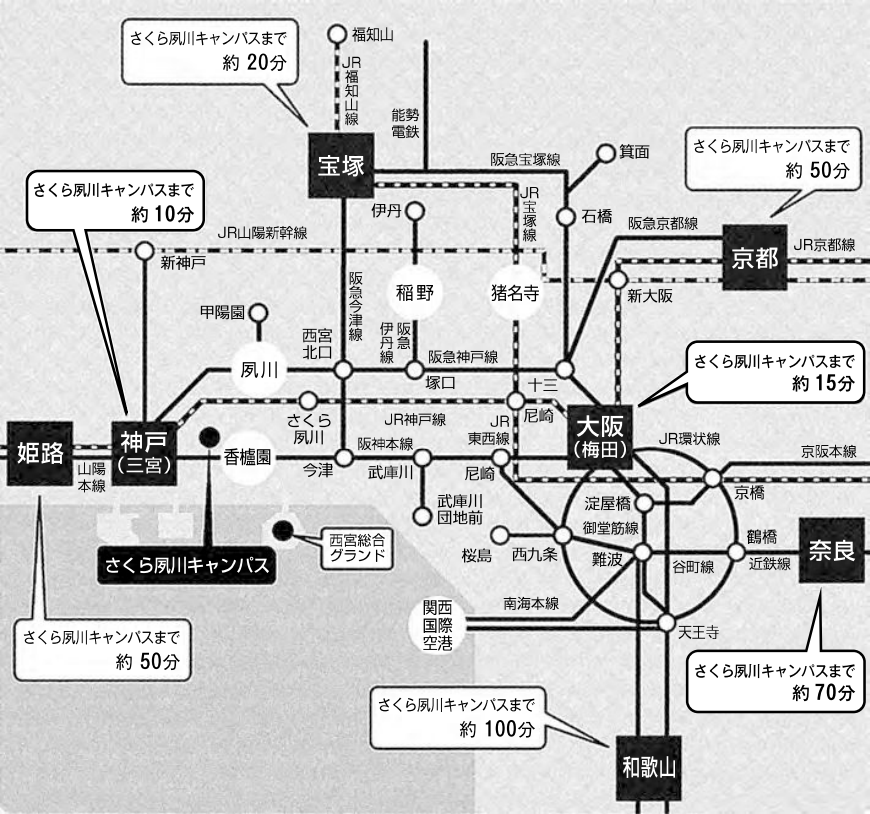
三木町医学部キャンパス（医学部）



3. 香川大学関西地区検査場案内図

大手前大学（さくら夙川キャンパス）

広域アクセスマップ



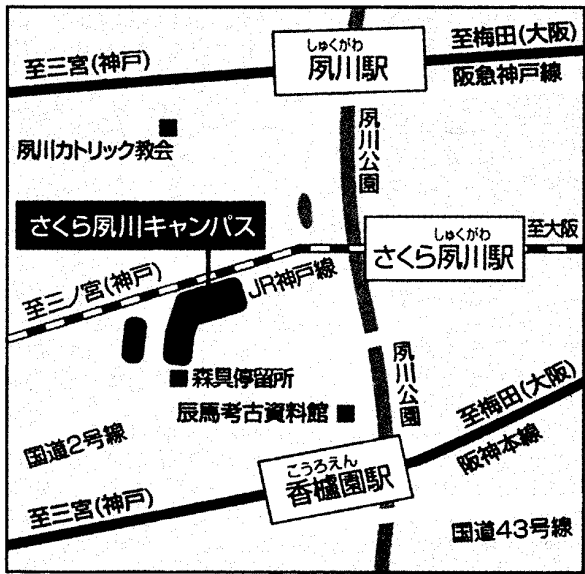
さくら夙川キャンパス
最寄り駅までの所要時間

- ・大阪（梅田）から15分
- ・神戸（三宮）から10分
- ・京都から50分
- ・宝塚から20分
- ・姫路から50分
- ・奈良から70分
- ・和歌山から100分

※時間帯や乗り継ぎ等により異なる場合があります。

さくら夙川キャンパス

〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町 6-42

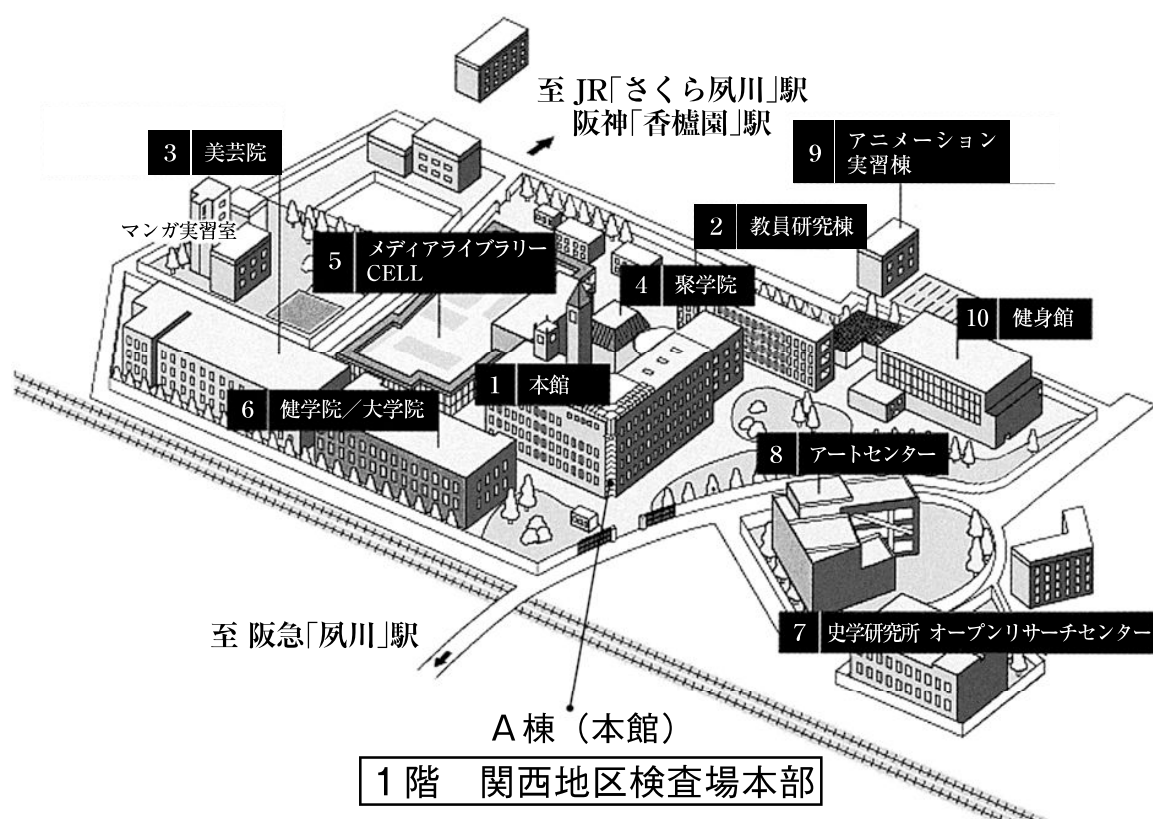


- ・JRさくら夙川駅から徒歩7分
- ・阪急夙川駅から徒歩7分
- ・阪神香櫨園駅から徒歩7分

4. 香川大学関西地区検査場建物配置図

大手前大学（さくら夙川キャンパス）

キャンパス地図



入学試験等に関する照会先

香川大学入試グループ	TEL (087) 832-1182 〒760-8521 高松市幸町1番1号
香川大学教務課学務係 (教育学部担当)	TEL (087) 832-1428 〒760-8523 高松市幸町2番1号
香川大学教務課学務第一係 (法学部担当)	TEL (087) 832-1806 〒760-8523 高松市幸町2番1号
香川大学教務課学務第二係 (経済学部担当)	TEL (087) 832-1813 〒760-8523 高松市幸町2番1号
香川大学医学部学務課 大学院・入学試験係	TEL (087) 891-2074 〒761-0793 木田郡三木町大字池戸1750番地1
香川大学創造工学部学務係	TEL (087) 864-2015 〒761-0396 高松市林町2217番地20
香川大学農学部学務係	TEL (087) 891-3015 〒761-0795 木田郡三木町大字池戸2393番地

香川大学ホームページ	https://www.kagawa-u.ac.jp/
インターネット出願サイト	https://portal.postanet.jp/shikoku/entry

インターネット出願の操作方法に関する照会先

インターネット出願専用コールセンター	TEL (075) 211-6556
※受付期間	2020年1月20日(月)～1月24日(金) 9:00～17:00 2020年1月27日(月)～2月5日(水) 9:00～20:00 ※土日を含む

～ 不測の事態発生時等における諸連絡について ～

災害等の不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については、上記の本学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

また、入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので、試験当日まで注意してご覧ください。